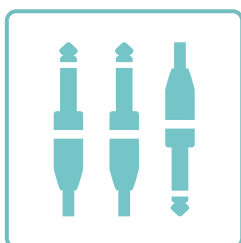


# Keystage

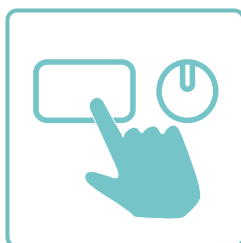
POLY AT MIDI KEYBOARD

## 取扱説明書

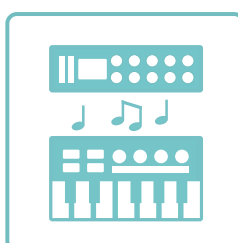
セットアップ



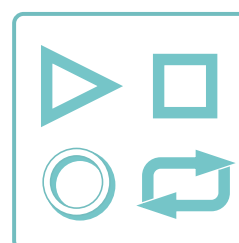
基本操作



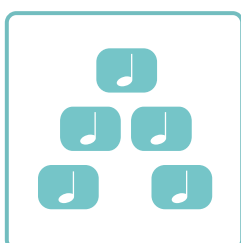
音源を操作



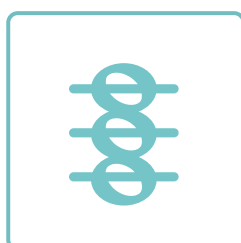
DAWを操作



アルペジエーターを演奏



コード・モードで演奏



管理する



困ったときは



\*Keystageをご使用の前に、安全上のご注意（PDF）をよくお読みのうえ正しい方法でご使用ください。

### 関連コンテンツ

**PDF** [安全上のご注意、クイック・スタート・ガイド、取扱説明書](#)

**MOVIE** [Keystageビデオ・マニュアル](#)

**HELP** [よくあるご質問 \(USB、DAW、MIDI2.0\)](#)

**HELP** [DAWの設定方法や注意事項](#)

**HELP** [MIDI2.0 Property Exchangeの設定方法や注意事項](#)

**Prod.** [製品ページ](#)

# 目次

はじめに .....	5
本書の表記について .....	6
おもな特長 .....	7
各部の名称 .....	8
フロント・パネル .....	9
リア・パネル .....	10
接続と準備 .....	11
外部機器を接続する .....	12
オーディオ機器 .....	12
ペダル .....	12
コンピューター、iPad/iPhone .....	13
コンピューターで使う .....	14
アプリケーションの設定 .....	14
iPad/iPhone で使う .....	15
外部 MIDI 音源で使う .....	16
拡張プレート .....	17
拡張プレートの取り付け .....	17
電源のオン、オフ .....	18
オート・パワー・オフ機能 .....	18
基本的な操作方法 .....	19
オーディオや鍵盤に関する基本操作 .....	20
オーディオ出力の調節 .....	20
鍵盤 .....	20
ホイール .....	21
パラメーターの表示と設定 .....	22
メイン・ディスプレイ .....	22
サブ・ディスプレイ、ノブ 1～8 .....	23
ページの切り替え .....	23
テンポの変更 .....	24
数値指定による変更 .....	24
タップ・テンポによる変更 .....	24
その他の操作 .....	25
VALUE ボタン、VALUE ダイアル .....	25
SHIFT ボタン .....	25
WRITE ボタン .....	26

音源を操作する.....	27
サウンドを選んで演奏する.....	28
サウンドのパラメーターを操作する.....	29
ノブなどにコントロール・チェンジを割り当てる (ユーザー・ページ).....	30
ユーザー・ページに割り当てる.....	30
ユーザー・ページを呼び出す.....	32
ユーザー・ページをリセットする.....	32
DAW を操作する.....	33
トランスポートの操作.....	34
その他の DAW 操作.....	35
アルペジエーターを使う.....	36
アルペジオを演奏する.....	37
アルペジオに変化をつける.....	38
ページ 1 (General).....	39
ページ 2 (Rhythm).....	40
ページ 3 (Dynamics).....	41
アルペジエーター・リズム・パターン・リスト.....	43
ノブにアルペジエーターの設定を割り当てる (ユーザー・ページ).....	44
ユーザー・ページにパラメーターを割り当てる.....	44
ユーザー・ページを呼び出す.....	45
ユーザー・ページをリセットする.....	46
鍵盤 1 つでコードを演奏する (コード・モード).....	47
コードを演奏する.....	48
コード・セットや演奏方法を変える.....	49
好みのコードを登録する (ユーザー・コード).....	51
本機を管理する.....	52
本機の全体的な動作を設定する.....	53
全体的な設定 (MIDI、オート・パワー・オフなど).....	53
鍵盤に関する設定 (ベロシティ・カーブなど).....	54
ペダルに関する設定.....	55
シーンを切り替える.....	57
シーンを保存する.....	57
シーンを呼び出す.....	58
KORG KONTROL Editor を使う.....	59
Keyboard (鍵盤の設定).....	59
Wheel (モジュレーション・ホイールの設定).....	59
Encoder (DAW のプレイ・ポジション移動の設定).....	59
Knob (ノブ 1 ~ 8 の設定).....	59

Button (その他の DAW 操作の設定) .....	60
Property Exchange (MIDI 2.0 の Property Exchange の設定) .....	60
ペダルを調整する .....	61
工場出荷時の状態に戻す .....	62
付録 .....	63
故障とお思いになる前に .....	64
電源が入らない .....	64
オーディオが出力されない .....	64
ソフトウェアが反応しない .....	64
ボタンやコントローラーの動作がおかしい .....	64
プリセット・コード・セット一覧 (コード・モード) .....	65
仕様 .....	70
動作環境 (USB 接続) .....	72
MIDI インプリメンテーション・チャート .....	73

## はじめに

---

このたびは、POLY AT MIDIキーボードKeystage-49/61をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。


本製品の機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

[→本書の表記について](#)

[→おもな特長](#)

## 本書の表記について

---

- 本書で使用しているイラストの形状や表示が、実際の製品と一部異なる場合があります。
- 本書に記載されている各種のパラメーターの数値などは表示の一例ですので、本体のディスプレイの表示と必ずしも一致しない場合があります。
- 本書で使用されている記号:
  -  性能や機能を正しく活用できなくなる可能性のある事項について、注意すべき内容の説明が記載されています。
  - Note** 注意すべき内容の説明が記載されています。
  - Tip** 知っておくと役に立つ補足情報が記載されています。
  - " " ディスプレイに表示されるパラメーターは" "で括って表しています。

## おもな特長

---

- ポリフォニック・アフタータッチに対応した鍵盤を搭載し、表現豊かな演奏ができます。
- アルペジエーター機能で、さまざまなパターンが演奏できます。また、ラチェット機能により、リアルタイムでアルペジエーターの動きを変化させることができます。
- コード機能(コード・モード)で、指一本で次々にコード(和音)が演奏できます。コード・セットは、32種類のプリセットと、自由に登録できる32個のユーザー・コード・セットがあります。
- 8 個のサブ・ディスプレイ付きのノブを搭載しています。それぞれのノブの下にパラメーター名や値が表示され、直感的にエディットできます。
- 特別な設定なしでさまざまなDAWアプリケーションと連携し、本機から操作できます。
- MIDI 2.0の一部機能 (Property Exchange)に対応し、対応する音源と連携できます。
- オーディオ・インターフェイス機能を搭載しており、本機をコンピューターや iPad/iPhone と接続するだけでDAWソフトウェアやソフトウェア音源のサウンドを出力できます。
- 拡張プレートを取り付けることで、モバイル・デバイスやノート・パソコンなどを置くことができます。

## 各部の名称

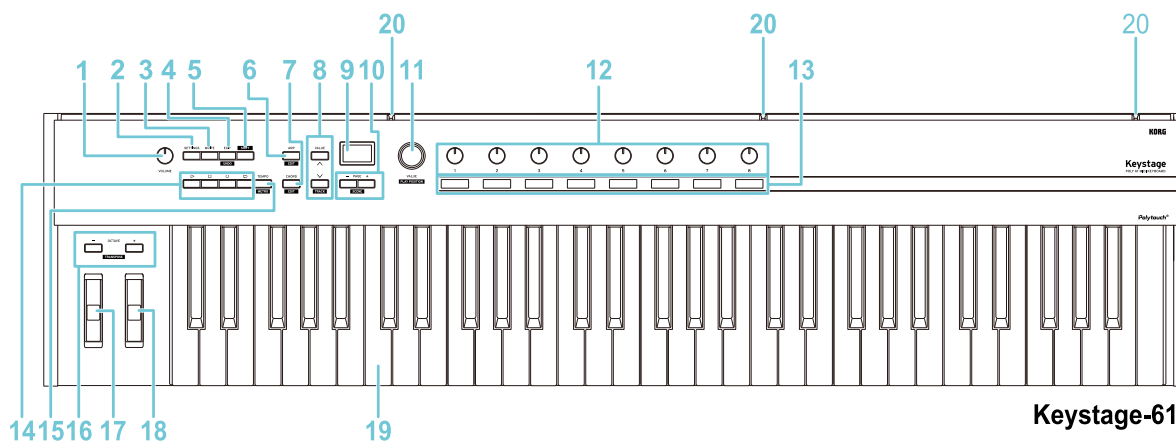
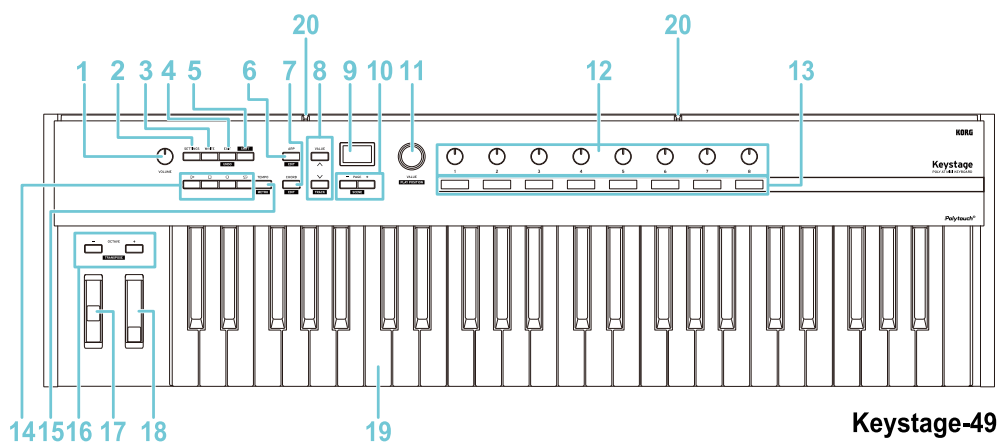
---

→[フロント・パネル](#)

→[リア・パネル](#)

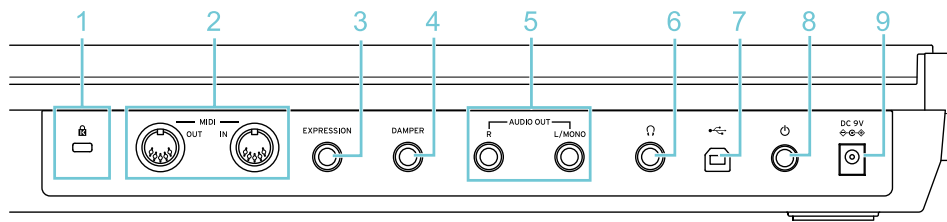


## フロント・パネル



- 1 VOLUMEノブ → [オーディオ出力の調節](#)
- 2 SETTINGSボタン → [本機の全体的な動作を設定する](#)
- 3 WRITEボタン → [WRITEボタン](#)
- 4 EXITボタン → [メイン・ディスプレイ](#)
- 5 SHIFTボタン → [SHIFTボタン](#)
- 6 ARPボタン → [SHIFTボタン](#), [アルペジオを演奏する](#)
- 7 CHORDボタン → [SHIFTボタン](#), [コードを演奏する](#)
- 8 VALUEボタン → [VALUEボタン](#), [VALUEダイヤル](#)
- 9 メイン・ディスプレイ → [メイン・ディスプレイ](#)
- 10 PAGE -、+ボタン → [ページの切り替え](#)
- 11 VALUEダイヤル → [VALUEボタン](#), [VALUEダイヤル](#)
- 12 ノブ1~8 → [サブ・ディスプレイ](#), [ノブ1~8](#)
- 13 サブ・ディスプレイ → [サブ・ディスプレイ](#), [ノブ1~8](#)
- 14 トランスポート・ボタン → [トランスポートの操作](#)
- 15 TEMPOボタン → [テンポの変更](#)
- 16 OCTAVE -、+ ボタン → [オクターブの切り替え](#), [トランスポーズ](#)
- 17 ピッチ・ベンド・ホイール → [ホイール](#)
- 18 モジュレーション・ホイール → [ホイール](#)
- 19 鍵盤 → [鍵盤](#)
- 20 拡張プレート取り付け穴 → [拡張プレート](#)

## リア・パネル




- 1 盗難防止用ロック (🔒)
- 2 MIDI IN/OUT端子 →外部MIDI音源で使う
- 3 EXPRESSION端子 →外部機器を接続する
- 4 DAMPER端子 →外部機器を接続する
- 5 AUDIO OUT L/MONO、R端子 →外部機器を接続する
- 6 ヘッドホン端子 →外部機器を接続する
- 7 USB (B)端子 →コンピューターで使う
- 8 電源ボタン →電源のオン、オフ
- 9 DC 9V端子 →電源のオン、オフ

**Tip:** 盗難防止用ロックには、市販の盗難防止用セキュリティ・ワイヤーなどをつなぎます。  
<http://www.kensington.com/>

## 接続と準備

---

 本機には音源が内蔵されていないため、本機だけでは音が出ません。本機で演奏するためには、ソフトウェア音源などのアプリケーションをコンピューターやiPad/iPhoneにインストールする必要があります。

[→外部機器を接続する](#)

[→コンピューターで使う](#)

[→iPad/iPhoneで使う](#)

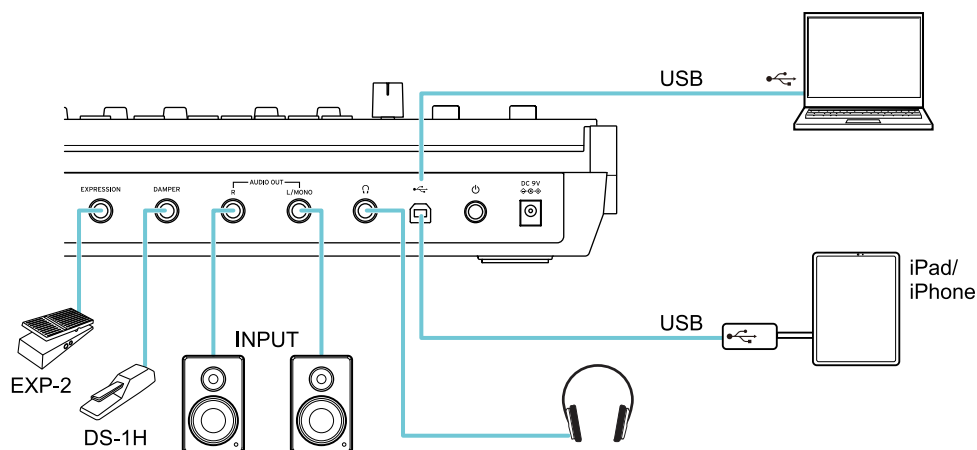
[→外部MIDI音源で使う](#)

[→拡張プレート](#)

[→電源のオン、オフ](#)

## 外部機器を接続する

- ⚠** 接続する前に、外部機器の電源がすべてオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態で接続すると、パワー・モニター・スピーカーや他の外部機器に不具合が生じたり、破損の原因になる恐れがあります。



### オーディオ機器

#### AUDIO OUT L/MONO、R端子 (6.3 mm TSフォーン・ジャック)

パワー・モニター・スピーカーなどに接続します。VOLUMEノブで音量を調節します。

#### ヘッドホン端子 (6.3 mm ステレオ・フォーン・ジャック)

ヘッドホンを接続します。AUDIO OUT L/MONO、R端子と同じ信号が出力されます。

### ペダル

- ⚠** ペダルの極性は電源をオンにしたとき自動的に検出されます。極性が誤って検出されないように、電源をオンにするときはペダルを踏まないでください。別のペダルを接続するときは、本機の電源を入れ直してください。

#### DAMPER端子 (6.3 mm フォーン・ジャック、ハーフ・ダンパー対応)

コルグDS-1Hダンパー・ペダル、またはPS-1、PS-3ペダル・スイッチ (別売) を接続してダンパー機能をコントロールします。DS-1Hを接続した場合はハーフ・ダンパー・ペダルとして機能します。

ダンパー・ペダルやペダル・スイッチを使って、サウンドの切り替えもできます。

#### EXPRESSION端子 (6.3 mm フォーン・ジャック)

コルグEXP-2フット・コントローラー、XVP-20エクスプレッション・ペダル (別売) を接続します。特定のMIDIメッセージを送信してサウンドにモジュレーションをかけたり、ボリュームを調節します。

*Tip:* より確実に動作させるためにペダルの調整 (キャリブレーション) ができます。

→ [ペダルを調整する](#)

*Tip:* DAMPER 端子と EXPRESSION 端子でコントロールする機能はセッティング画面で設定します。  
→[ペダルに関する設定](#)

## | コンピューター、iPad/iPhone

### USB (B)端子

コンピューターやiPad/iPhoneを接続し、本機からDAWやソフトウェア音源の操作や、音声を出力します。

→[コンピューターで使う](#)

→[iPad/iPhoneで使う](#)

## コンピューターで使う

コンピューターと接続して、DAWやソフトウェア音源などを本機から操作したり、サウンドを出力します。

Windows PCをご使用の場合は、USBケーブルを接続する前にコルグ・ウェブサイト(www.korg.com)より、USB-MIDI ドライバーおよびオーディオ・ドライバーをインストールしてください。

[https://www.korg.com/keystage\\_driver/](https://www.korg.com/keystage_driver/)

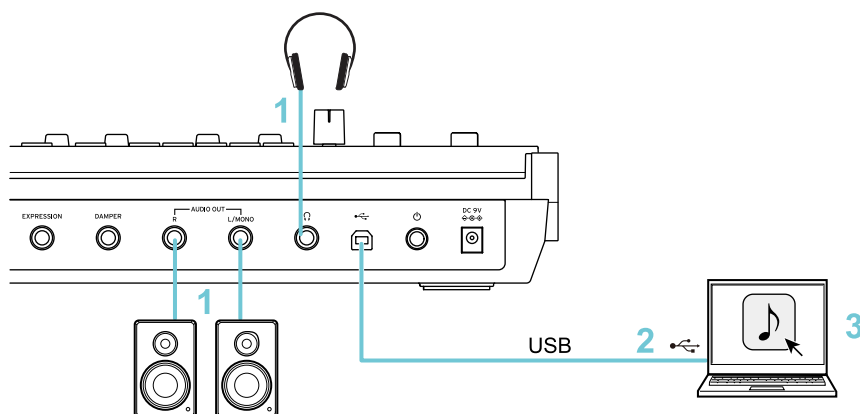
- KORG USB-MIDI Driver
- Keystage Audio Driver

Macをご使用の場合、ドライバーのインストールは必要ありません（2023年10月現在、macOS 11および12において。詳細はコルグ・ウェブサイトをご覧ください）。

- ▲** 電源を入れる前に、本機のVOLUMEノブで音量を最小にしてください。  
ご使用になるコンピューターが動作環境を満たしているか確認してください。

最新のOS 対応状況については、コルグ・ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.korg.com/support/os/>



- 1 パワード・モニター・スピーカーやヘッドホンなどの外部機器を接続します。  
[→外部機器を接続する](#)
- 2 本機のUSB (B)端子とコンピューターをUSBケーブルで接続します。  
USBバスパワーによって、自動的に電源が入ります。
- 3 コンピューターでDAWやソフトウェア音源などのアプリケーションを起動します。
- 4 本機のVOLUMEノブを回して、音量を調節します。

## アプリケーションの設定

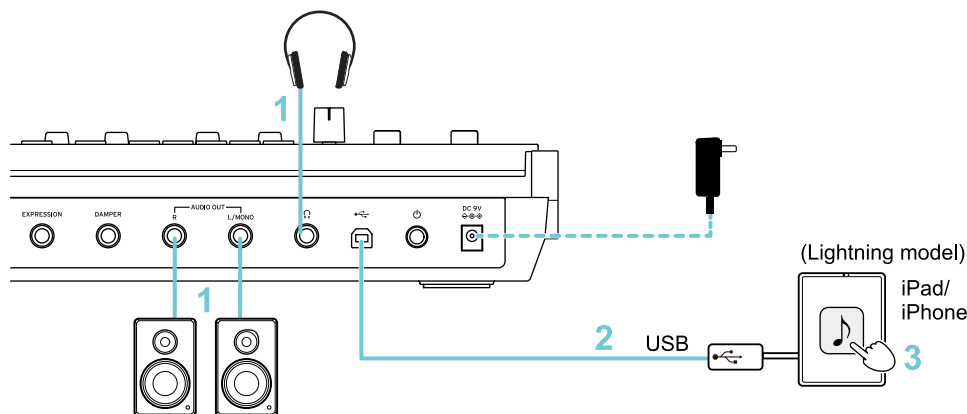
本機をコンピューターで使用するには、ご使用になるアプリケーションでオーディオ出力やMIDI入出力などを設定する必要があります。詳細はアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

## iPad/iPhoneで使う

iPad/iPhoneと接続して、DAWやソフトウェア音源などを本機から操作したり、サウンドを出力します。

iPad/iPhoneとの接続には、USB-C—USBアダプタまたはLightning—USBカメラアダプタが必要です。

- ▲ 必ず付属のUSB ケーブルを使用してください。
- ▲ Lightning端子のiPad/iPhoneと接続する場合、本機のDC 9V端子にACアダプター（別売）を接続する必要があります。
- ▲ 電源を入れる前に、本機のVOLUMEノブで音量を最小にしてください。  
ご使用になるiPad/iPhoneが動作環境を満たしているか確認してください。  
最新のOS 対応状況については、コルグ・ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.korg.com/support/os/>



- 1 パワード・モニター・スピーカーやヘッドホンなどの外部機器を接続します。  
→[外部機器を接続する](#)
- 2 本機のUSB (B)端子とiPad/iPhoneに接続されたUSBアダプタをUSBケーブルで接続します。  
**USB-C端子のiPad/iPhone:**  
USB-C—USBアダプタを使用します。本機と接続すると、USBバスパワーによって自動的に電源が入ります。  
**Lightning端子のiPad/iPhone:**  
Lightning—USBカメラアダプタを使用します。本機にACアダプター（別売）を接続し、本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
- 3 iPad/iPhoneでDAWやソフトウェア音源などのアプリケーションを起動します。
- 4 本機のVOLUMEノブを回して、音量を調節します。

## 外部MIDI音源で使う

本機の鍵盤やコントローラー、アルペジエーターなどで、外部MIDI音源を発音させたり、音源のパラメーターをコントロールします。外部MIDI機器の接続や設定方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

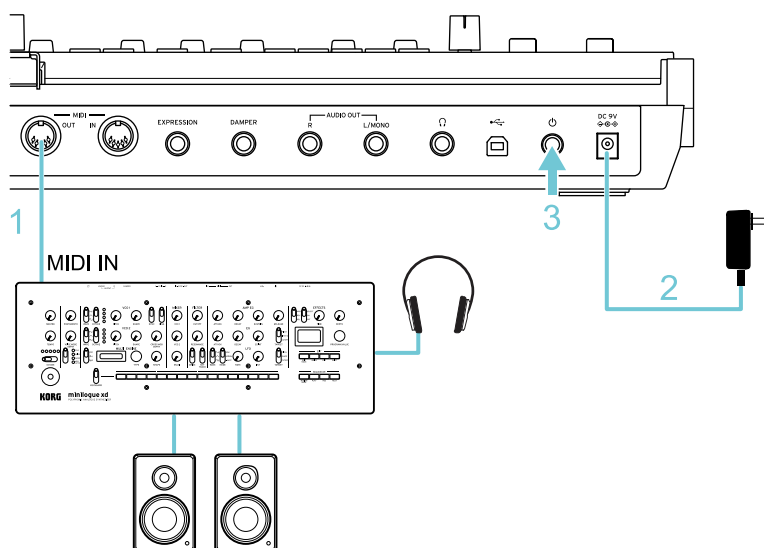
MIDIとはMusical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器やコンピューターの間で、演奏に関するさまざまな情報をやり取りするための世界共通の規格です。

MIDI機器同士をMIDIケーブルなどで接続することで、異なるメーカーの電子楽器やコンピューターとの間で演奏情報のやり取りをできます。

**Tip:** 本機の演奏情報はグローバルMIDIチャンネルで出力されます。グローバルMIDIチャンネルは変更できます。

→[本機の全体的な動作を設定する](#)

**Tip:** KORG Kontrol Editor を使って、鍵盤やノブ、モジュレーション・ホイールなどのコントローラーにそれぞれ MIDI チャンネルを設定できます。



- 1 本機のMIDI OUT端子と外部MIDI音源のMIDI IN端子を接続します。
- 2 ACアダプター(別売)をDC 9V端子に接続します。  
または、市販のUSB2.0規格準拠のACアダプター(DC5V 550mA以上)をUSB (B)端子に接続します。
- 3 電源ボタンを押して、電源を入れます。

**Note:** 本機は、別売アクセサリーのACアダプター、または市販のUSB2.0規格準拠のACアダプター(DC5V 550mA以上)を使用できます。

**⚠** 使用するUSB ACアダプターによっては規格に準拠したものでも、正常に動作しない場合があります。



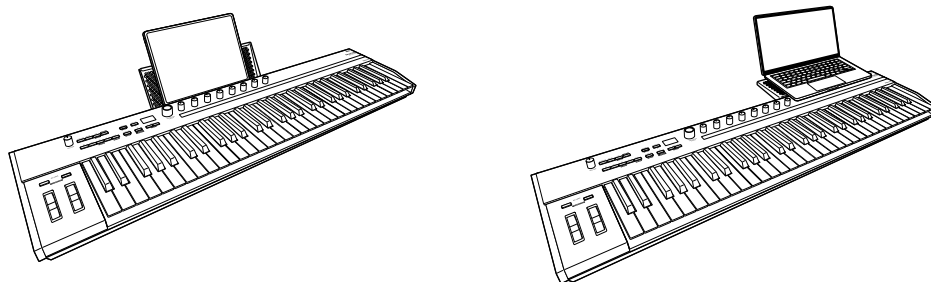
## 拡張プレート

本機に拡張プレートを取り付けて、モバイル・デバイスなどを設置できます。

拡張プレートは水平または傾斜付きで装着可能です。

- Keystage-61: 中央または右側に装着可能
- Keystage-49: 中央に装着可能

傾斜付き設置例 / 水平設置例



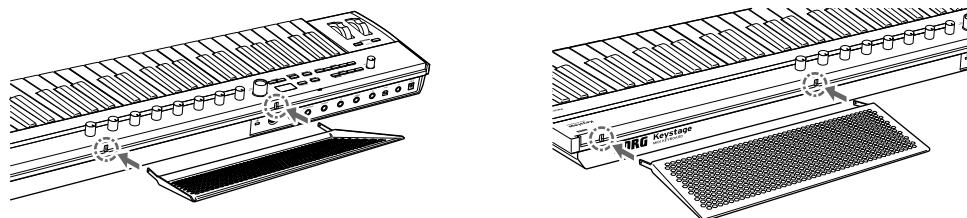
**!** 拡張プレートから大きくはみ出すデバイスは設置しないでください。デバイスが落下する危険があります。

*Tip:* Keystage-61 では、右側へ水平に取り付ける場合のみ小型のノート・パソコンを設置できます。

### 拡張プレートの取り付け

拡張プレートの支柱を本機の取り付け穴へ差し込み、根元までしっかりと押し込んでください。拡張プレートの傾斜面を上にするると傾斜付き、傾斜面を下にするると水平に取り付けられます。

傾斜付きに取り付ける場合 / 水平に取り付ける場合



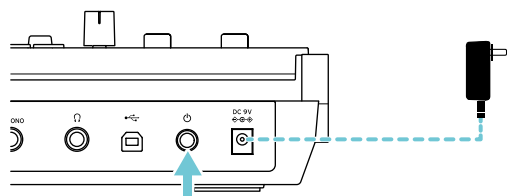
## 電源のオン、オフ

電源ボタンを押すと電源オン、長押しすると電源オフになります。

本機をUSBバスパワーで動作させる場合、USBケーブルを接続すると自動的に電源が入ります。

**Note:** 電源のオン/オフは、5秒以上間隔を空けて切り替えてください。

USBバスパワーが使えない場合や、本機を外部MIDI音源のコントローラーとして使用するときは、本機のDC 9V端子にACアダプター（別売）を接続してください。または、USB (B)端子に市販のUSB2.0規格準拠のACアダプター（DC5V 550mA以上）を接続してください。



### オート・パワー・オフ機能

フロント・パネル、鍵盤、MIDI入出力の操作がない状態が4時間経過すると、自動的に電源がオフになります。自動的に電源がオフになるまでの時間を変更したり、オート・パワー・オフ機能自体を無効にしたりできます。

→[本機の全体的な動作を設定する](#)

## 基本的な操作方法

---

→[オーディオや鍵盤に関する基本操作](#)

→[パラメーターの表示と設定](#)

→[テンポの変更](#)

→[その他の操作](#)

# オーディオや鍵盤に関する基本操作

## オーディオ出力の調節



VOLUME

VOLUMEノブを回して、AUDIO OUT L/MONO、R端子およびヘッドホン端子から出力する音量を調節します。

## 鍵盤

本機の鍵盤は、ノート・オン/オフやベロシティに加え、鍵盤の押し込みによるコントロール（アフタータッチおよびMPE）に対応しています。

演奏や操作の情報は、グローバルMIDIチャンネル（送受信の基本となるMIDIチャンネル）から送信されます。

鍵盤の押し込みによるコントロールは、初期状態でポリフォニック・アフタータッチに設定されています。

グローバルMIDIチャンネルやアフタータッチの設定はセッティング画面で変更できます。

→[本機の全体的な動作を設定する](#)

*Tip:* KORG Kontrol Editor を使って、鍵盤やノブ、モジュレーション・ホイールなどのコントローラーにそれぞれ MIDI チャンネルを設定できます。詳しくはコルグ・ウェブサイト ([www.korg.com](http://www.korg.com)) をご覧ください。

## アフタータッチ

押した鍵盤をさらに深く押し込むことで、サウンドを変化させます。

- ・ チャンネル・アフタータッチ (チャンネル・プレッシャー)  
チャンネルごとに一つのアフタータッチがかかります。どの鍵盤を押してもサウンド全体が変化します。
- ・ ポリフォニック・アフタータッチ (ポリフォニック・キー・プレッシャー)  
鍵盤ごとに独立したアフタータッチがかかります。それぞれの押し込む深さによって効果のかかり方を変えたり、演奏した和音の1音だけにアフタータッチの効果をかけたりできます。



過度な力で鍵盤を押し込むと、アフタータッチのセンサーが劣化することがあります。必要以上に鍵盤を押し込まないでください。

## MPE (MIDI Polyphonic Expression)

本機はMPEのプレッシャー（鍵盤の押し込み）に対応しています。MPE使用時は、本機の名鍵盤が個別のMIDIチャンネルに分割され、それぞれのサウンドに独自のプレッシャー・コントロールができます。MPEを使用するには、MPEに対応した音源が必要です。

## オクターブの切り替え、トランスポーズ

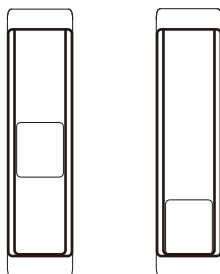


- OCTAVE -、+ ボタンで鍵盤の音域を1オクターブずつダウン/アップします。操作中、設定値がメイン・ディスプレイに表示されます。ボタンの点灯や点滅で設定を確認することもできます。

オクターブ	ボタン	状態
+3	OCTAVE +	早い点滅
+2		遅い点滅
+1		点灯
標準	OCTAVE -、+	消灯
-1	OCTAVE -	点灯
-2		遅い点滅
-3		早い点滅

- SHIFTボタンを押しながらOCTAVE -または+ ボタンを押すと、トランスポーズ(半音ずつダウン/アップ)します。
- OCTAVE -と+ ボタンを同時に押すと標準の音の高さに戻ります。

## ホイール



### ピッチベンド・ホイール (左)

前後に動かすことで、ピッチをコントロールします。センター位置はピッチ変化がない通常の状態です。ホイールから手を離すとセンター位置に戻ります。

### モジュレーション・ホイール (右)

奥側に動かすことで、モジュレーションのかけ具合をコントロールします。ホイールから手を離してもその位置にとどまり、効果が持続します。

ユーザー・ページを使用すると、モジュレーション・ホイールでコントロールするMIDIメッセージを変更できます。

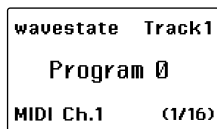
[→ノブなどにコントロール・チェンジを割り当てる \(ユーザー・ページ\)](#)

## パラメーターの表示と設定

---

### メイン・ディスプレイ

#### メイン画面



通常表示される画面です。

画面を表示するには、EXITボタンを押します。

メイン画面には選択中のシーン名やプログラム・ナンバーなどが表示されます。

左上：シーン名

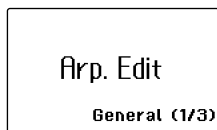
右上：DAWのトラック名（トラック名表示対応のDAWをご使用の場合のみ）

中央：プログラム・ナンバー

左下：グローバルMIDIチャンネル

右下：サブ・ディスプレイのページ・ナンバー

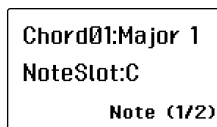
#### エディット画面（アルペジエーター）



アルペジエーターの設定を変更するときに表示される画面です。

画面を表示するには、メイン画面でSHIFTボタンを押しながらARPボタンを押します。

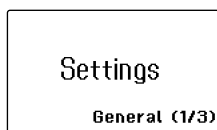
#### エディット画面（コード・モード）



コード・モードの設定を変更するときに表示される画面です。

画面を表示するには、メイン画面でSHIFTボタンを押しながらCHORDボタンを押します。

#### セッティング画面



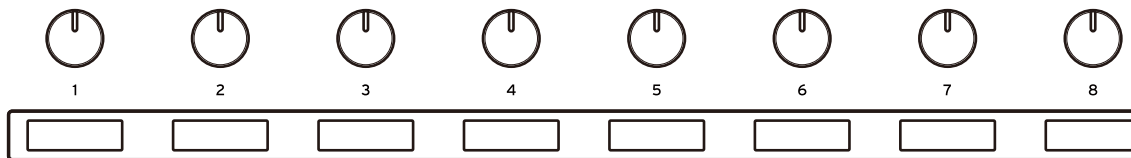
本機の動作を設定する画面です。

画面を表示するには、メイン画面でSETTINGボタンを押します。

Tip: フロント・パネル、鍵盤、MIDI 入出力の操作がない状態が続くと、自動的にディスプレイが消灯します（初期設定：1 時間）。消灯するまでの時間を変更したり、常時点灯させたりできます。

→[本機の全体的な動作を設定する](#)

## サブ・ディスプレイ、ノブ1~8



サブ・ディスプレイには、ノブ1~8で操作可能なパラメーターと設定値が表示されます。

ノブ1~8で操作可能な内容は、メイン・ディスプレイに表示されている画面によって変わります。

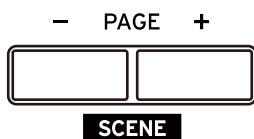
メイン画面の表示中：音源のパラメーター操作

エディット画面（アルペジエーター）の表示中：アルペジエーターのパラメーター操作

エディット画面（コード・モード）の表示中：コード・モードのパラメーター操作

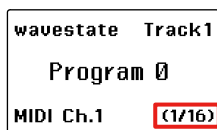
セッティング画面の表示中：本機の設定変更

## ページの切り替え



パラメーターが多数ある画面では、パラメーターがグループ（ページ）にまとめられています。PAGE -、+ボタンを操作してページを切り替えると、ノブ1~8で操作可能なパラメーターが切り替わります。

現在表示しているページは、メイン・ディスプレイの右下に表示されます。



メイン画面の表示中、SHIFTボタンを押しながらPAGE -または+ボタンを押すと、本機のシーンが切り替わります。

→[シーンを呼び出す](#)

## テンポの変更

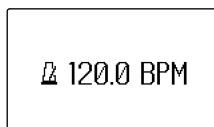


TEMPOボタンを押して、メイン・ディスプレイにテンポの値を表示します。本機のアルペジエーターは、ここで設定したテンポで演奏されます。設定後しばらくすると、操作前の表示に戻ります。

本機をDAWで使用している場合、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、DAWのメトロノームをオン、オフできます。

### 数値指定による変更

- 1 TEMPOボタンを押し、テンポの設定画面を表示します。



- 2 VALUEダイヤルまたはVALUEボタンを使ってテンポの値を変更します。

*Tip:* VALUEダイヤルをゆっくり回すと0.1 BPM単位、すばやく回すと10 BPM単位で値を変更できます。

### タップ・テンポによる変更

タップ・テンポとは、ボタンを繰り返し押すことでテンポを設定する機能です。感覚的にテンポを設定したいときに使うと便利です。

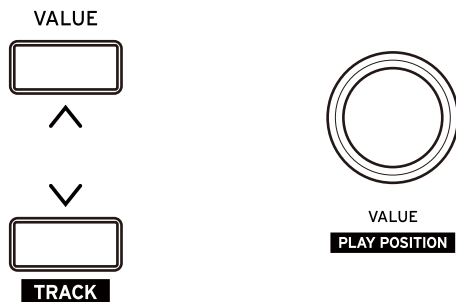
- 1 設定したいテンポに合わせてTEMPOボタンを2回以上押します。  
繰り返し押すと、押した間隔の平均値のテンポに設定されます。より精度の高いテンポ設定が可能です。

*Note:* MIDI IN端子またはUSB端子からMIDIクロックを受信するとそのテンポに同期します。Keystageのテンポ表示は“External”になります。MIDIクロックを受信していないときはKeystageの内部テンポで動作します。DAWなどと同期させるにはDAWなどでMIDIクロックの設定が必要です。



## その他の操作

### VALUEボタン、VALUEダイヤル



- ・メイン画面の表示中: 音源のサウンドを切り替え(プログラム・チェンジ)ます。
- ・テンポの表示中: テンポの値を変更します。
- ・エディット中: メイン・ディスプレイに表示されている設定値を変更します。
- ・文字の入力中: 文字種を変更します。

DAWの使用中に、SHIFTボタンを押しながら操作すると、DAWのトラックの切り替えや再生位置の移動ができます。

### SHIFTボタン



SHIFTボタンを押しながら他のボタンなどを操作することで、特定の機能を実行します。

組み合わせるボタン/ ダイヤル	機能
OCTAVE -、+ボタン	鍵盤をトランスポートします。 → <a href="#">オーディオや鍵盤に関する基本操作</a>
EXIT ボタン	DAW をコントロールします(操作の取り消し、メトロノームのオン / オフ、トラックの切り替え、再生位置の移動)。
TEMPO ボタン	
VALUE ボタン	
VALUE ダイヤル	→ <a href="#">DAW を操作する</a>
ARP ボタン	アルペジエーターのエディット画面を表示します。 → <a href="#">アルペジオに変化をつける</a>
CHORD ボタン	コード・モードのエディット画面を表示します。 → <a href="#">コード・セットや演奏方法を変える</a>
PAGE -、+ボタン	保存したシーンを呼び出します。 → <a href="#">シーンを呼び出す</a>

## | WRITEボタン

WRITE



シーンや変更した設定を登録するときなどに使用します。

## 音源を操作する

---

**Note:** 音源側が本機のコントローラーから送信される MIDI メッセージに対応している必要があります。音源の取扱説明書も合わせて参照してください。

→[サウンドを選んで演奏する](#)

→[サウンドのパラメーターを操作する](#)

→[ノブなどにコントロール・チェンジを割り当てる \(ユーザー・ページ\)](#)

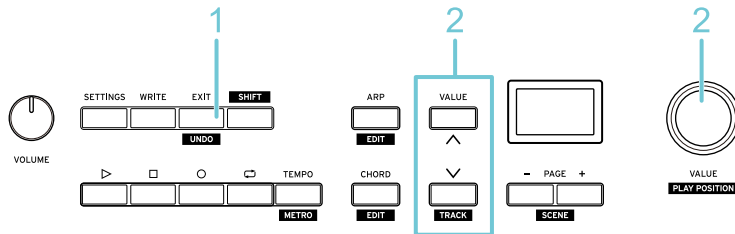
**Tip:** 本機は MIDI2.0 の Property Exchange (デバイス同士の音色名やパラメーター名などの送受信) に対応しています。

詳しくはコルグ・ウェブサイト(<https://support.korguser.net/hc/>) をご覧ください。

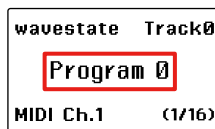
## サウンドを選んで演奏する

音源のサウンド（音色プログラムなど）を本機から切り替えます。

**Note:** サウンドの切り替えは、プログラム・チェンジに対応している音源でのみ使用できます。



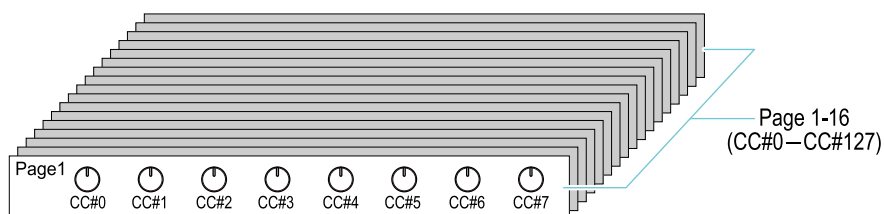
- 1 EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- 2 VALUEボタンまたはVALUEダイヤルを使ってサウンドを選択します。メイン画面に選択しているプログラム・ナンバーが表示されます。



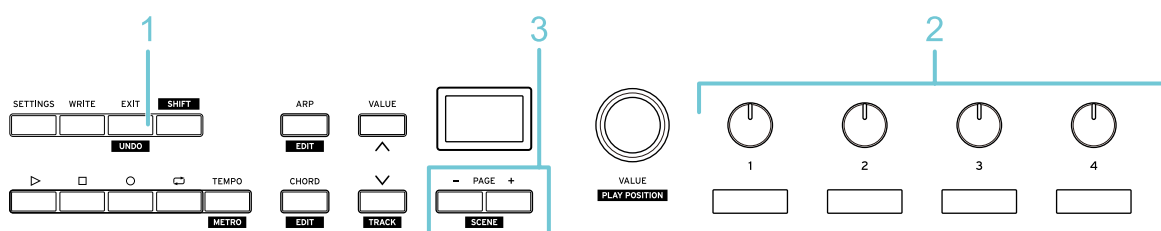
- 3 鍵盤を弾いて演奏します。  
音源が対応していれば、以下のコントローラーでサウンドを変化させることができます。
  - 鍵盤（ノート・オン/オフ、ベロシティ、アフタータッチ）
  - モジュレーション・ホイール
  - ピッチ・ベンド
  - DAMPER端子に接続したペダル
  - EXPRESSION端子に接続したペダル

## サウンドのパラメーターを操作する

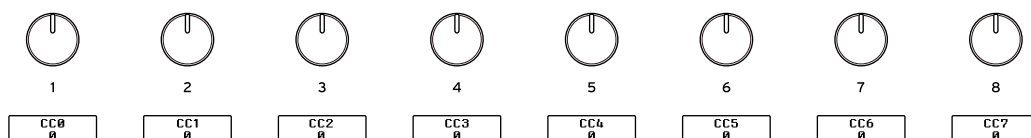
本機のノブ1～8にはコントロール・チェンジ（CC#0～CC#127）が割り当てられています。8つのコントロール・チェンジのグループ（ページ）を切り替えながら、音源のパラメーターを操作します。音源のパラメーターに割り当てられたコントロール・チェンジ・ナンバーを事前にご確認ください。



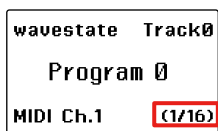
**Tip:** MIDI2.0に対応する音源をご使用の場合、音源のパラメーターが自動的にノブ1～8へ割り当てられます。詳しくはコルグ・ウェブサイト ([www.korg.com](http://www.korg.com)) をご覧ください。



- 1 EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- 2 ノブ1～8を回し、音源のパラメーターを調節します。  
ノブに対応するコントロール・チェンジ・ナンバーは、サブ・ディスプレイに表示されます。



- 3 ページを切り替えるには、PAGE - ボタンまたは+ボタンを押します。  
メイン画面に、表示しているページ・ナンバーと総ページ数が表示されます。



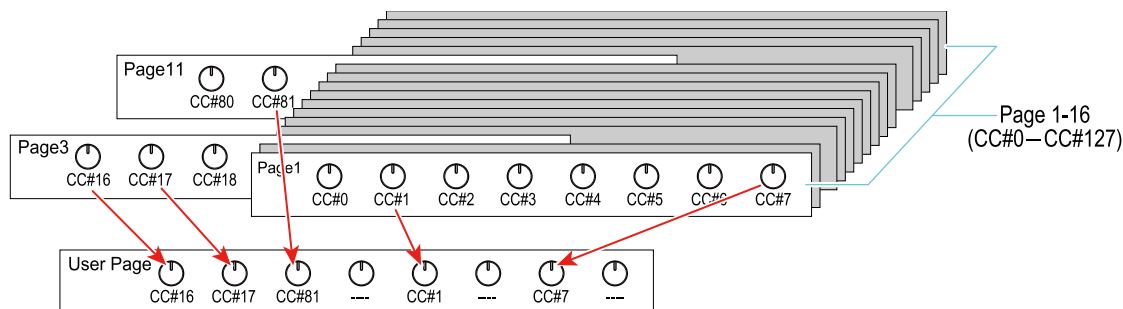
ページを切り替えたり、演奏する音源を変更すると、ノブの位置とパラメーターの値にずれが生じます。このときノブを操作すると、パラメーターの値はすぐにノブの位置へ変わります。

**Tip:** 好みのコントロール・チェンジを他のノブに割り当てたい場合は、専用のページ（ユーザー・ページ）に自分用の設定を登録できます。

→ [ノブなどにコントロール・チェンジを割り当てる（ユーザー・ページ）](#)

# ノブなどにコントロール・チェンジを割り当てる (ユーザー・ページ)

ノブに割り当てられたコントロール・チェンジの中から、好みのものを選んで専用のページ（ユーザー・ページ）に登録できます。使用する音源に合わせてカスタマイズするときに使用します。



以下のソフトウェア音源用に、あらかじめユーザー・ページが設定されたシーンが用意されています。ご使用になるソフトウェア音源に合わせてシーンを選んでください。

- wavestate native、opsix native、modwave native、microKORG、TRITON、Polysix

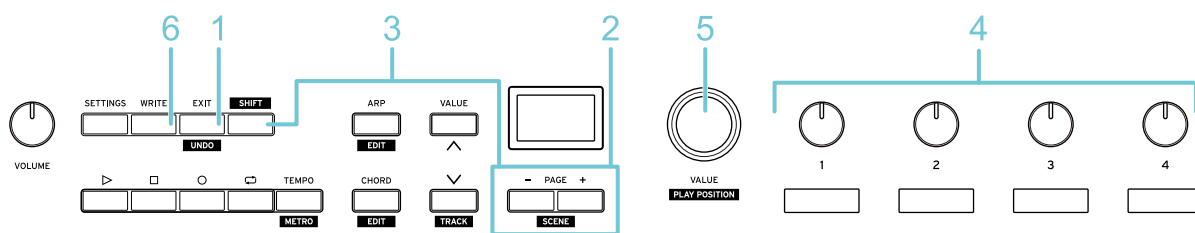
→[シーンを切り替える](#)

**Tip:** ユーザー・ページを使用して、モジュレーション・ホイールや、鍵盤のベロシティ、アフタータッチにコントロール・チェンジを割り当てることもできます。

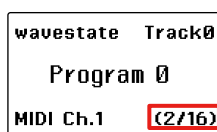
**Tip:** KORG Kontrol Editor を使って登録することも可能です。詳しくはコルグ・ウェブサイト ([www.korg.com](http://www.korg.com)) をご覧ください。

## ユーザー・ページに割り当てる

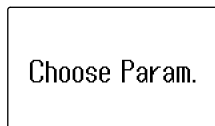
ここではエディット画面ページ2の“CC#10”（ノブ3）をユーザー・ページの“ノブ1”に割り当てる方法を例にして、手順を説明します。



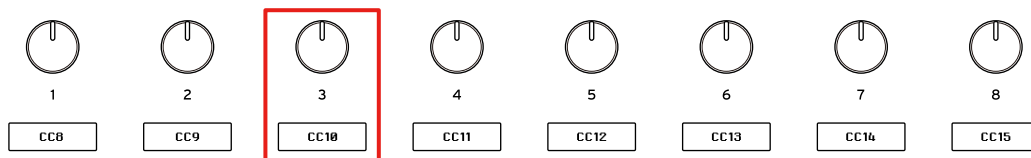
- EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- PAGE - ボタンまたは+ボタンを押して、割り当てたいコントロール・チェンジがあるページを表示します。  
ここでは“CC#10”のあるページ2を表示します。



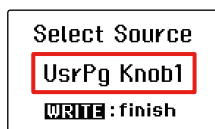
- 3 SHIFTボタンを押しながら、WRITEボタンを押します。



- 4 ユーザー・ページに登録したいコントロール・チェンジのノブを回します。ノブに対応するサブ・ディスプレイが点滅します。ここではノブ3を回して“CC#10”を選択します。



- 5 VALUEダイヤルを回し、メイン・ディスプレイで登録先となるコントローラーを選択します。ここでは“UsrPg Knob1”(ノブ1)を選択します。



ノブ1～8を選択すると、ユーザー・ページの該当するノブに登録されます。

表示	コントローラー
UsrPg Knob1 ～ UsrPg Knob8	ノブ 1 ～ 8
Modwheel	モジュレーション・ホイール
Velocity	鍵盤によるベロシティ
Aftertouch	アフタータッチ
None	割り当てなし

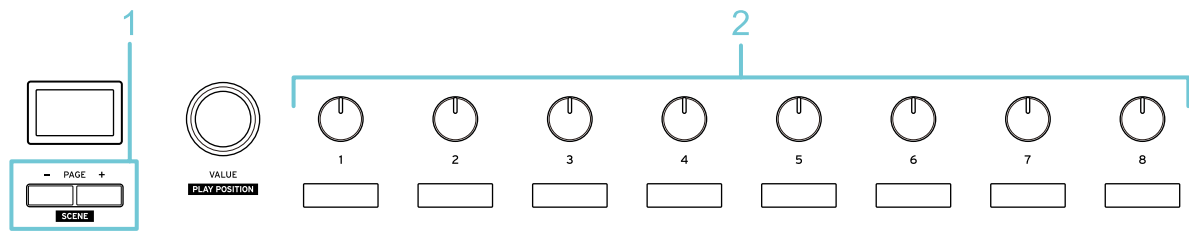
- 6 登録を実行するにはWRITEボタンを押します。メイン画面に戻ります。

- ⚠ ユーザー・ページの設定はシーン・データに含まれます。シーンを保存せずに電源を切ったり、シーンを切り替えたりすると、変更した内容が消えてしまいます。

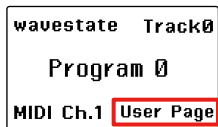
→[シーンを切り替える](#)

- ⚠ MIDI 2.0 Property Exchange で接続しているときは、CCナンバーが自動的に割り当てられるため、ユーザー・ページへの登録はできません。

## ユーザー・ページを呼び出す



- 1 メイン画面でPAGE - ボタンまたは+ ボタンを押し、“User Page”を選択します。

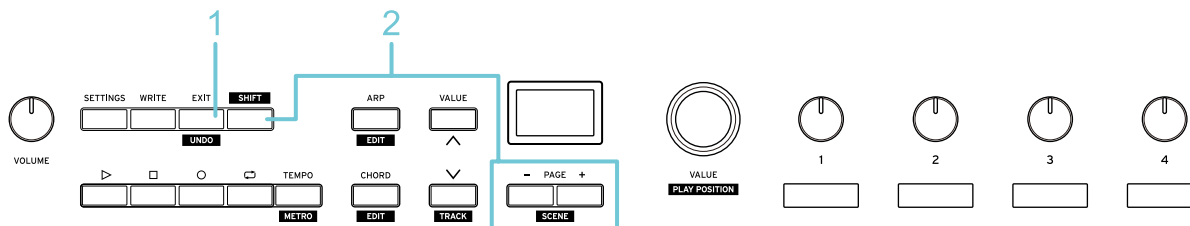


*Note:* ユーザー・ページは、登録済みの場合にのみ表示されます。

- 2 ノブを回して割り当てたコントロール・チェンジを調節します。

## ユーザー・ページをリセットする

ユーザー・ページのすべての設定を、未登録の状態にリセットします。



- 1 EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- 2 SHIFTボタンを押しながら、WRITEボタンを押し続けます。  
リセットされると“User Page Cleared!”と表示されます。

*Note:* コントロール・チェンジとアルペジエーターの両方のユーザー・ページがリセットされます。



## DAWを操作する

---

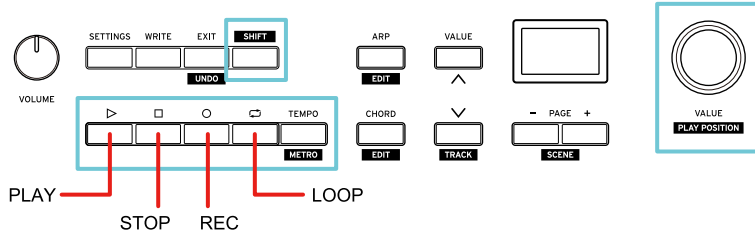
ご使用になるDAWにより、機能の対応状況が異なります。詳しくは、KORG appヘルプセンターをご覧ください。

[→トランスポートの操作](#)

[→その他のDAW操作](#)

## トランスポートの操作

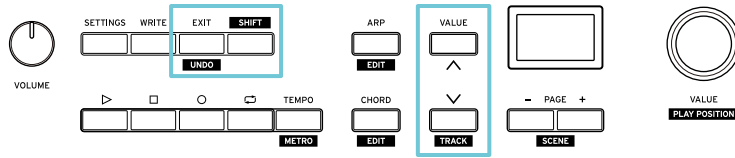
本機からDAWのトランスポートを操作します。



機能	操作
再生位置(プレイ・ポジション)の移動	SHIFT ボタンを押しながらVALUEダイヤルを回す
再生	PLAY ボタンを押す
停止	STOP ボタンを押す
録音	REC ボタンを押す
メトロノームのオン、オフ	SHIFT ボタンを押しながら TEMPO ボタンを押す
ループ設定の切り替え	LOOP ボタンを押す

## その他のDAW操作

DAWのトラック選択や操作の取り消し（アンドゥ）を行います。



### トラックの選択

- 1 SHIFTボタンを押しながら、VALUEボタンのいずれかを押します。  
ボタンを押すたびに、DAWのトラックが切り替わります。

### 操作の取り消し（Undo）

- 1 SHIFTボタンを押しながら、EXITボタンを押します。  
直前にした操作がキャンセルされ、1つ前の状態に戻ります。

## アルペジエーターを使う

---

アルペジエーターは、和音を弾くとその構成音を自動的に分散して発音する機能です。本機のアルペジエーターは多数のリズム・パターンを持ち、鍵盤で和音を押さえるだけでリズム感のある演奏が可能です。

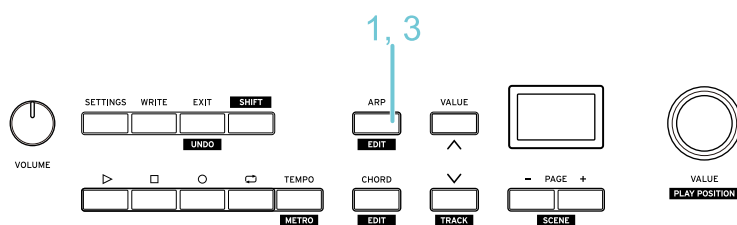
→[アルペジオを演奏する](#)

→[アルペジオに変化をつける](#)

→[ノブにアルペジエーターの設定を割り当てる \(ユーザー・ページ\)](#)

## アルペジオを演奏する

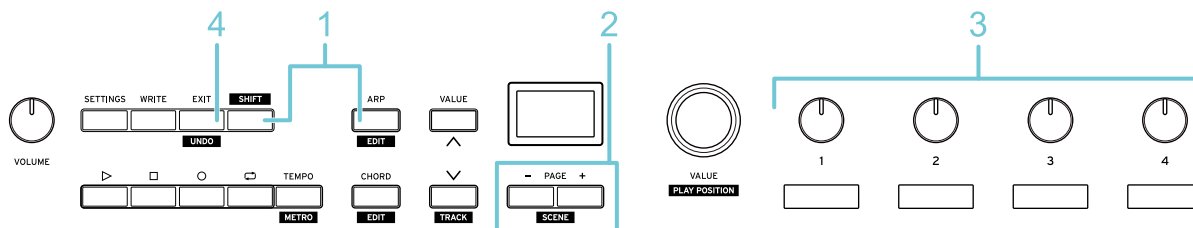
本機のアルペジエーターで音源などを演奏します。あらかじめ音源などを演奏できる状態にしてください。



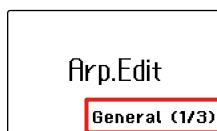
- 1 ARPボタンを押してアルペジエーターをオン(ボタン点灯)にします。
- 2 鍵盤で和音を弾きます。  
アルペジオの演奏が始まります。テンポの変更は「基本的な操作方法」をご覧ください。  
→[テンポの変更](#)  
*Tip:* アルペジオの演奏はグローバル MIDI チャンネルから送信されます。  
→[本機の全体的な動作を設定する](#)
- 3 アルペジエーターをオフにするには、ARPボタンを押して消灯させます。

## アルペジオに変化をつける

アルペジエーターの設定を変更して、アルペジオの演奏に変化をつけます。



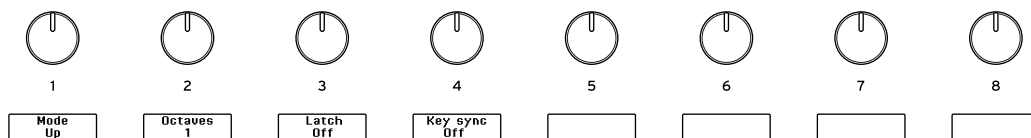
- 1 SHIFTボタンを押しながらARPボタンを押します(ボタン点滅)。アルペジエーターのエディット画面(ページ1)が表示されます。



アルペジエーターのエディット画面は3ページで構成されています。

- ・ ページ1 (General) : アルペジオの基本的な設定を変更します。
- ・ ページ2 (Rhythm) : アルペジオのリズム関連の要素を変更します。
- ・ ページ3 (Dynamics) : アルペジオの音量や音長などを変更します。

- 2 PAGE - ボタンまたは+ボタンを押して、変更したい設定があるページを表示します。
- 3 ノブ1~8を回してアルペジエーターの設定を変更します。鍵盤を弾いて効果を確認しながら変更ができます。



- 4 変更を終了するにはEXITボタンを押します。メイン画面に戻ります。

**Tip:** 好みのノブでアルペジエーターの設定を変更したい場合は、専用のページ (ユーザー・ページ) に自分用の設定を登録できます。

[→ノブにアルペジエーターの設定を割り当てる \(ユーザー・ページ\)](#)

## ページ1 (General)

### ノブ1 [Mode]

上昇、下降などアルペジオのノート・パターンを設定します。

Up : 音の低い方から高い方へ発音します。



Down : 音の高い方から低い方へ発音します。



Up-down : “Up”と“Down”を繰り返して発音します。最高音と最低音で1回発音します。



Down-up : “Down”と“Up”を繰り返して発音します。最高音と最低音で1回発音します。



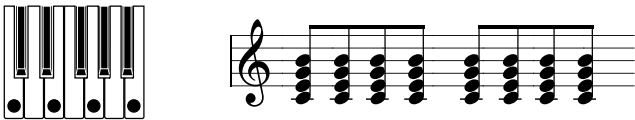
Played : 鍵盤を押さえた順番に発音します。



Random : ランダムに発音します。



Trigger : 押さえている音を同時に発音します。“Octaves”の設定は無効となります。



### ノブ2 [Octaves]

アルペジエーターが展開する音域をオクターブ単位（1～4）で設定します。

### ノブ3 [Latch]

鍵盤から手を離れたときのアルペジエーターの動きを設定します。

**Off** : 鍵盤から手を離すと、アルペジエーターの展開が止まります。ダンパー・ペダルを踏みながら鍵盤から手を離した場合、踏んでいる間だけアルペジエーターの展開が続きます。

**On** : 鍵盤から手を離しても、アルペジエーターの展開が続きます。

### ノブ4 [Keysync]

鍵盤を押さえたときの動作を設定します。

**Off** : 新たに鍵盤を押さえたとき、それまでに展開していたアルペジオ・パターンの位置で展開を続けます。

**On** : 鍵盤を押さえたときに展開がリセットされ、アルペジオ・パターンの先頭から展開します。

## ページ2 (Rhythm)

*Tip*: ノブ4～7で、アルペジオの任意の音を連打するような特殊効果(ラチェット効果)を加えられます。設定値の組み合わせによって、アルペジオが複雑に変化します。

### ノブ1 [Rate]

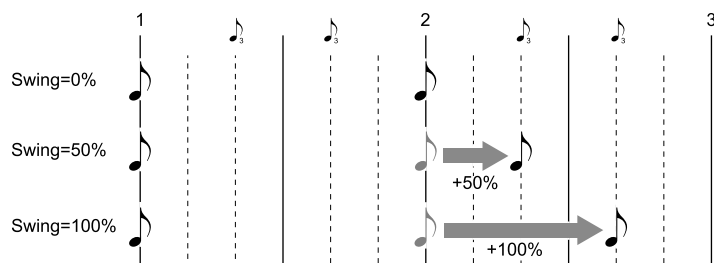
アルペジオの音の長さを設定します。

**1/1～1/64** : 全音符 (1/1) から64分音符 (1/64) の範囲で設定します。付点音符 (1/3、1/6、1/12、1/24、1/48) に設定することもできます。

### ノブ2 [Swing]

偶数位置のアルペジオのタイミングを後にずらして、シャッフル感を加えます。

**0%～100%** : 0% (効果なし) から100% (効果最大) の範囲で設定します。



### ノブ3 [Pattern]

本機にプリセットされたリズム・パターンを選びます。

→[アルペジエーター・リズム・パターン・リスト](#)

### ノブ4 [Ratchet Control]

ラチェット効果のコントロール・ソースを選択します。アフタータッチやベロシティ、モジュレーション・ホイールなどのコントローラーを選択した場合、コントローラーの値が“Ratchet Thre.” (ノブ5) の設定値を超えると、ラチェット効果がかかります。

**Off** : ラチェット効果オフ (初期値)

**Always** : 常に効果

**AfterTouch** : アフタータッチ

**ModWheel** : モジュレーション・ホイール

**Pedal 1** : ダンパー・ペダル



**Pedal 2** : エクスプレッション・ペダル

**Velocity** : ベロシティ値

**First Note** : アルペジオ・パターンの最初の音に効果

**Last Note** : アルペジオ・パターンの最後の音に効果

**Lowest Note** : アルペジオ・パターンの最低音に効果

**Highest Note** : アルペジオ・パターンの最高音に効果

*Tip:* “AfterTouch” の選択時は、現在設定されたアフタータッチ (“Channel” または “Polyphonic”) でコントロールします。→[本機の全体的な動作を設定する](#)

### ノブ5 [Ratchet Thre.]

ラチェット効果がかかるしきい値を設定します。“Ratchet Control” (ノブ4) でアフタータッチやベロシティ、モジュレーション・ホイールなどのコントローラーを選択した場合にのみ機能します。

**0~127** : 設定した値を超えるとラチェット効果がかかります (初期設定 : 64)。

### ノブ6 [Ratchet Speed]

ラチェット効果による連打の速度を指定します。

**1/1~1/128** : 全音符 (1/1) ~128分音符 (1/128) で同じ音を連打します。

### ノブ7 [Ratchet Cycle]

ラチェット効果がかかるとき、同じ音を繰り返す代わりに、その部分だけ再生スピードを速くしてアルペジオを演奏します。On (有効) または Off (無効) を設定します。

## ページ3 (Dynamics)

### ノブ1 [Gate Time]

アルペジオの各ノートの長さを設定します。

**-100%~0%~+100%** : マイナスに設定するとアルペジオの各ノートが短くなります。プラスに設定するとアルペジオのノートが長くなります。

### ノブ2 [Gate Control]

“Gate Time” (ノブ1) のコントロール・ソースを選択し、コントローラーの値でアルペジオの各ノートの長さを変化させます。

**Off** : コントロール・ソースなし

**AfterTouch** : アフタータッチ

**ModWheel** : モジュレーション・ホイール

**Pedal 1** : PEDAL 1端子に接続したペダル

**Pedal 2** : PEDAL 2端子に接続したペダル

*Tip:* “AfterTouch” の選択時は、現在設定されたアフタータッチ (“Channel” または “Polyphonic”) でコントロールします。→[本機の全体的な動作を設定する](#)

### ノブ3 [Gate Depth]

“Gate Control” (ノブ2) による効果のかかり具合を調節します。

**-100%~0%~+100%** : マイナスに設定するとコントローラーの値が大きくなるほど各ノートが短くなります。プラスに設定するとコントローラーの値が大きくなるほど各ノートが長くなります。

### **ノブ4 [Velocity]**

アルペジオのベロシティの値を設定します。

**Enable** : 鍵盤を演奏したベロシティの値でアルペジオを展開します。

**1~127** : 設定したベロシティの値でアルペジオを展開します。

### **ノブ5 [Chance]**

アルペジオのノートをランダムに取り除きます。

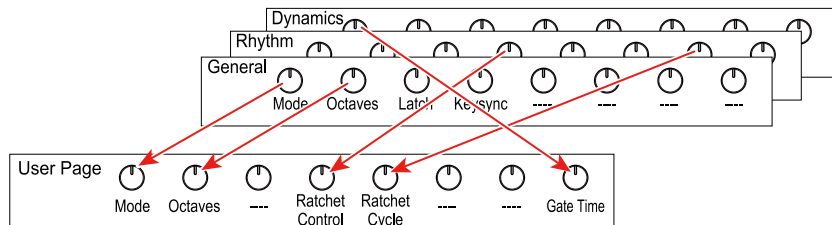
**1%~100%** : 取り除かれる確率を設定します。たとえば50%に設定した場合、1/2の確率でアルペジオのノートが除かれます。

# アルペジエーター・リズム・パターン・リスト

No.	Name	Rhythm Pattern
1	ooxx	
2	ooox	
3	oxoo	
4	ooxo	
5	oxx	
6	oox	
7	oxo	
8	oooxox	
9	ooxxxxxx	
10	oooxxxxx	
11	ooxooxox	
12	oxoxooxo	
13	oxooxoxx	
14	oxooxoxx	
15	oxxoxxxx	
16	oxxoxxxx	
17	oxxoxxxx	
18	oxxoooxo	
19	oxxxxoox	
20	oxxxxoxo	

## ノブにアルペジエーターの設定を割り当てる (ユーザー・ページ)

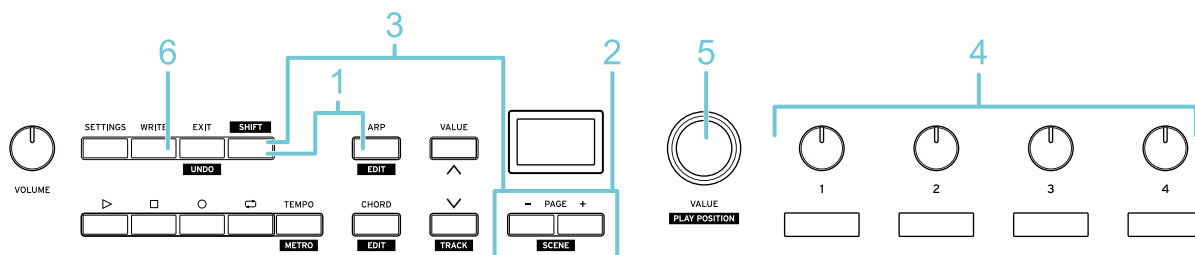
アルペジエーターの設定の中から好みのものを選び、専用のページ（ユーザー・ページ）に登録できます。ノブでコントロールする設定を、自分用にカスタマイズするとき 사용합니다。



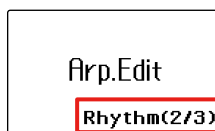
*Tip:* KORG Kontrol Editor を使って登録することも可能です。  
詳しくはコルグ・ウェブサイト ([www.korg.com](http://www.korg.com)) をご覧ください。

### ユーザー・ページにパラメーターを割り当てる

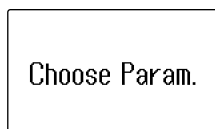
ここでは、エディット画面ページ2の“Pattern”（ノブ3）をユーザー・ページの“ノブ1”に割り当てる方法を例にして、手順を説明します。



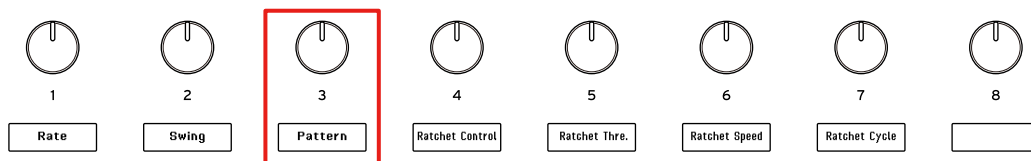
- 1 SHIFTボタンを押しながらARPボタンを押します。  
アルペジエーターのエディット画面（ページ1）が表示されます。
- 2 PAGE -ボタンまたは+ボタンを押して、割り当てたい設定があるページを表示します。  
ここでは“Pattern”のあるページ2を表示します。



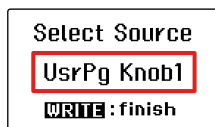
- 3 SHIFTボタンを押しながら、WRITEボタンを押します。



- 4 ユーザー・ページに登録したいノブを回します。  
ノブに対応するサブ・ディスプレイが点滅します。ここではノブ3を回して“Pattern”を選択します。



- 5 VALUEダイヤルを回し、メイン・ディスプレイで割り当て先となるユーザー・ページのノブを選択します。  
ここでは“UsrPg Knob1”(ノブ1)を選択します。

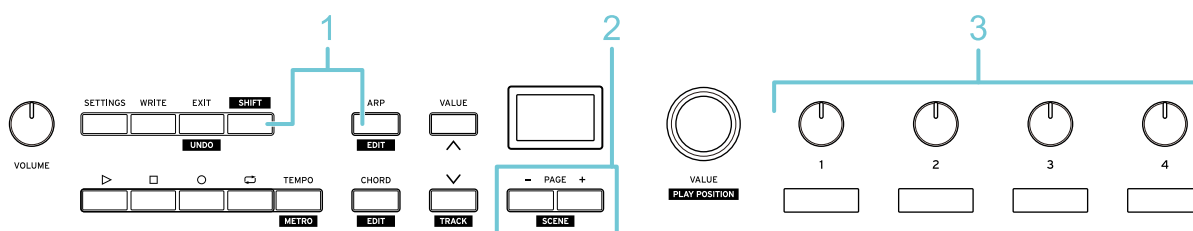


表示	コントローラー
UsrPg Knob1 ~ UsrPg Knob8	ノブ 1 ~ 8
None	割り当てなし

- 6 登録を実行するにはWRITEボタンを押します。  
EXITボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

- ⚠ ユーザー・ページの設定はシーン・データに含まれます。シーンを保存せずに電源を切ったり、シーンを切り替えたりすると、変更した内容が消えてしまいます。  
→[シーンを切り替える](#)

## ユーザー・ページを呼び出す



- 1 SHIFTボタンを押しながらARPボタンを押し、アルペジエーターのエディット画面を表示します。  
2 PAGE - ボタンまたは+ボタンを押し、“User Page”を選択します。

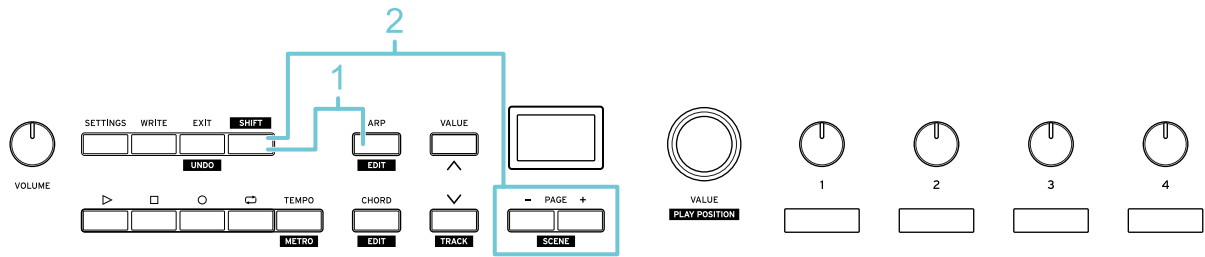


*Tip:* アルペジエーターのユーザー・ページは、登録済みの場合にのみ表示されます。

- 3 ノブを回して割り当てた設定をコントロールします。

## ユーザー・ページをリセットする

ユーザー・ページのすべての設定を、未登録の状態にリセットします。



- 1 EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- 2 SHIFTボタンを押しながら、WRITEボタンを押し続けます。  
リセットされると“User Page Cleared!”と表示されます。

**Note:** コントロール・チェンジとアルペジエーターの両方のユーザー・ページがリセットされます。

## 鍵盤1つでコードを演奏する(コード・モード)

---

コード・モードは、鍵盤に和音を割り当て、指1本でコードを演奏する機能です。コード・モードをオンにすると、C～Bの鍵盤ごとにコードが割り当てられます。

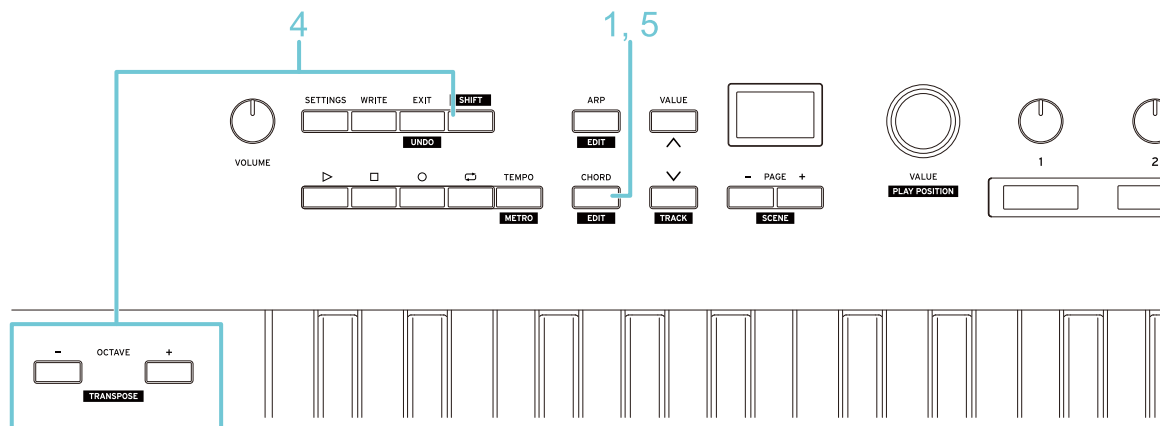
[→コードを演奏する](#)

[→コード・セットや演奏方法を変える](#)

[→好みのコードを登録する \(ユーザー・コード\)](#)

## コードを演奏する

コード・モードをオンにして鍵盤1つで和音を演奏します。あらかじめ音源などを演奏できる状態にしてください。



- 1 CHORDボタンを押してコード・モードをオン(ボタン点灯)にします。  
コードが鍵盤に割り当てられます。
- 2 1つの鍵盤を押します。  
白鍵には主要なコードが登録されています。白鍵のコードを組み合わせるだけで、簡単なコード進行のアイデアを作れます。
- 3 他の鍵盤を押して、コードを演奏します。  
他のコードが演奏されます。他のオクターブの鍵盤を押した場合は、オクターブ違いのコードが演奏されます。
- 4 コードを移調して演奏するには、SHIFTボタンを押しながらOCTAVE -または+ ボタンを押してトランスポーズします。
- 5 コード・モードをオフにするには、CHORDボタンを押して消灯させます。

*Tip:* 鍵盤に割り当てられたコードは変更できます。

→[コード・セットや演奏方法を変える](#)

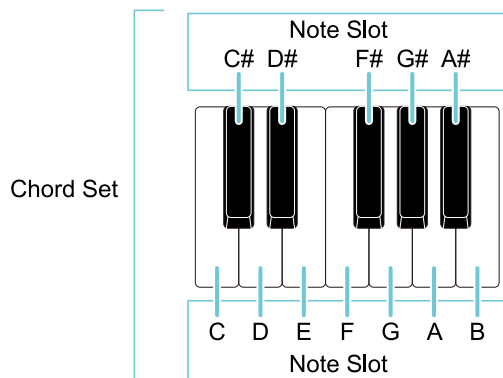
*Tip:* コード・モードとアルペジエーターの両方をオンにすると、コード・モードの和音でアルペジオを演奏できます。



## コード・セットや演奏方法を変える

コード・モードでは1オクターブの鍵盤（ノート・スロットC～B）にそれぞれコードが割り当てられます。他のオクターブの鍵盤を押した場合は、オクターブ違いのコードが演奏されます。

これらのコードの組み合わせ（コード・セット）と演奏方法を切り替えることで、さまざまなコードを演奏できます。

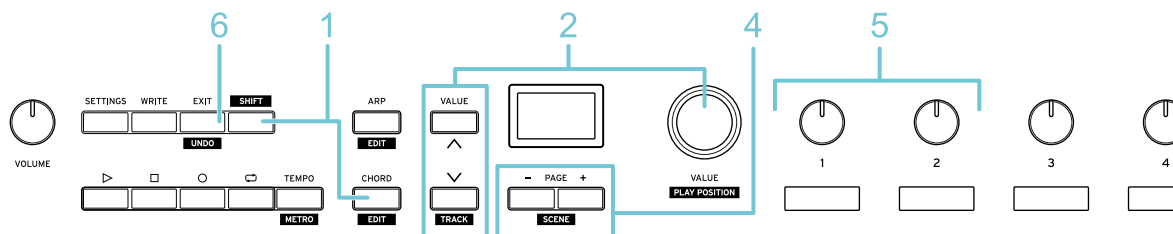


コード・セットには、プリセット・コード・セットとユーザー・コード・セットの2種類があります。ユーザー・コード・セット（User 01～User 32）には、自分で設定したコード・セットを登録できます。

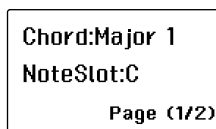
[→プリセット・コード・セット一覧 \(コード・モード\)](#)

[→好みのコードを登録する \(ユーザー・コード\)](#)

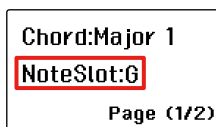
コードの和音は同時に発音させる以外に、ギターをかき鳴らしたような効果（ストラム効果）をつけることもできます。



- 1 SHIFTボタンを押しながらCHORDボタンを押します（ボタン点滅）。コード・モードのエディット画面（ページ1）が表示されます。

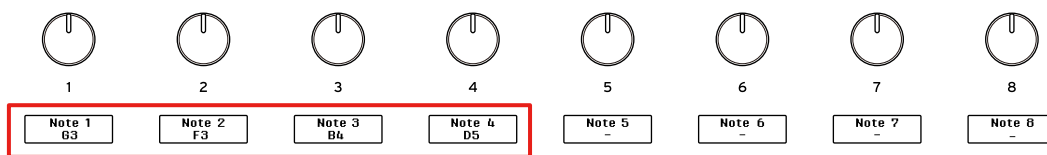


- 2 VALUEダイヤルまたはVALUEボタンを使って、コード・セットを選択します。
- 3 鍵盤（いずれかの音域のC～B）を押して、登録されたコードを演奏します。メイン・ディスプレイに現在選択しているノート・スロットが表示されます。

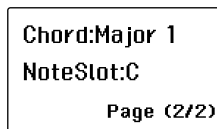


## Keystage - 鍵盤1つでコードを演奏する (コード・モード)

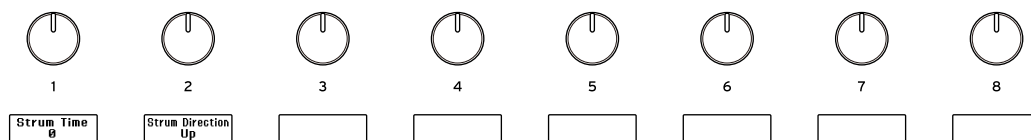
ノート・スロットに登録されたコードの和音はサブ・ディスプレイに表示されます。ノブを回すとそれぞれの音を変更できます。



- 4 ストラム効果を付けたい場合は、PAGE - ボタンまたは+ボタンを押してエディット画面のページ2を表示します。



- 5 ノブ1~2を回して、ストラム効果のかかり方を調節します。



### ノブ1 [Strum Time]

ストラム効果のかかり方を設定します。

0: 効果なし

1~100: 値を大きくするほど、効果のかかり方が大きくなります。

### ノブ2 [Strum Direction]

発音する順番を設定します。

**Up:** 低い音から高い音に向かって発音します。

**Down:** 高い音から低い音に向かって発音します。

**Up&Down:** 鍵盤を押すたびに“Up”と“Down”が切り替わります。

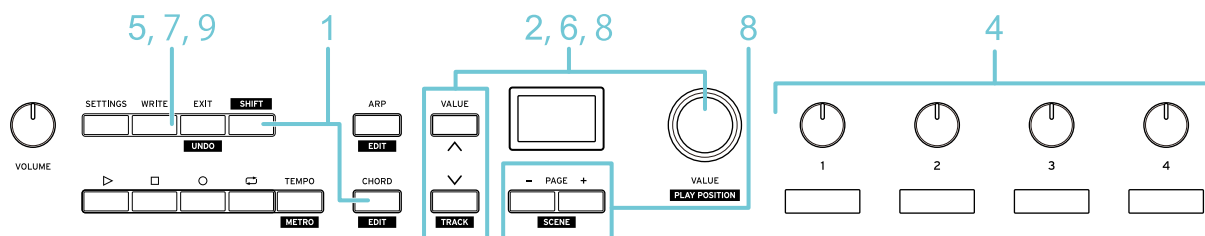
**Random:** 鍵盤を押すたびに“Up”と“Down”がランダムに切り替わります。

**Velocity:** ペロシティの強さにより“Up”と“Down”が切り替わります。

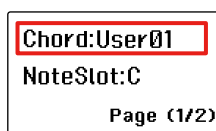
- 6 変更を終了するにはEXITボタンを押します。  
メイン画面に戻ります。

## 好みのコードを登録する(ユーザー・コード)

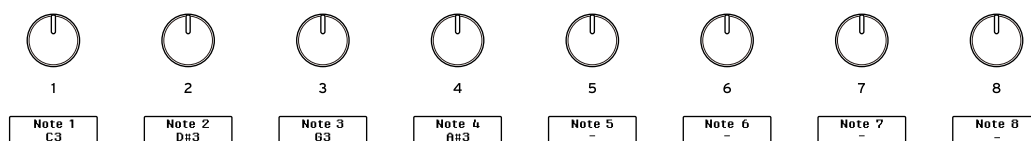
好みのコードをユーザー・コードとして登録します。ノート・スロットごとに最大8音のコードを登録できます。



- 1 SHIFT ボタンを押しながら CHORD ボタンを押してコード・モードのエディット画面(ページ1)を表示します。
- 2 VALUEダイヤルまたはVALUEボタンを使ってコード・セットを選択します。



- 3 鍵盤(C~B)を押して、コードを登録するノート・スロットを選択します。
- 4 ノブ1~8を回して、コードの和音を設定します。

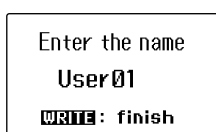


*Tip:* 鍵盤でコードを設定することもできます。SHIFT ボタンを押しながら鍵盤でコードの和音押し、SHIFT ボタンから手を離すと、手順3で選択したノート・スロットにコードが設定されます。

- 5 登録を実行するにはWRITEボタンを押します。  
保存先の選択画面が表示されます。
- 6 VALUEダイヤルを回して、保存先のユーザー・コード (User 01~User 32) を選択します。



- 7 もう一度WRITEボタンを押します。  
名前を入力画面が表示されます。



- 8 VALUEダイヤルとPAGE -, +ボタンでユーザー・コード名を入力します。  
VALUEダイヤルで文字の変更、PAGE -, +ボタンで入力位置の変更ができます。
- 9 保存を実行するにはWRITEボタンを押します。  
EXITボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

## 本機を管理する

---

本機には2種類の設定データがあります。

### グローバル・データ

MIDIに関する設定、鍵盤やペダルの動作など、本機の全体的な動作を設定します。鍵盤のペロシティ・カーブや省電力機能などの設定データです。グローバル・データは、シーンを切り替えても設定が変わりません。

- ・ セッティング画面の設定
- ・ コード・モードで登録したユーザー・コード


グローバル・データは、電源をオフにしたとき（またはUSBケーブルを抜いたとき）自動的に保存されます。

[→本機の全体的な動作を設定する](#)

### シーン・データ

ノブやアルペジエーターなどの設定データです。これらの設定データは、シーンとして一括保存や呼び出しができます。

- ・ ユーザー・ページの設定
- ・ アルペジエーターの設定
- ・ コード・モードの設定(コード・セット、Strum Time、Strum Direction)
- ・ 鍵盤の設定(MIDIチャンネル、オクターブ、トランスポーズ)

 設定を変更した場合、そのまま電源を切ったり、シーンを切り替えたりすると、変更した内容が消えてしまいます。変更した設定を再び使用したい場合は、シーンにデータを保存してください。

[→シーンを切り替える](#)

KORG KONTROL Editorを使うと、これらのパラメーターの管理や編集に加え、パネル操作では不可能な設定ができます。

[→KORG KONTROL Editorを使う](#)

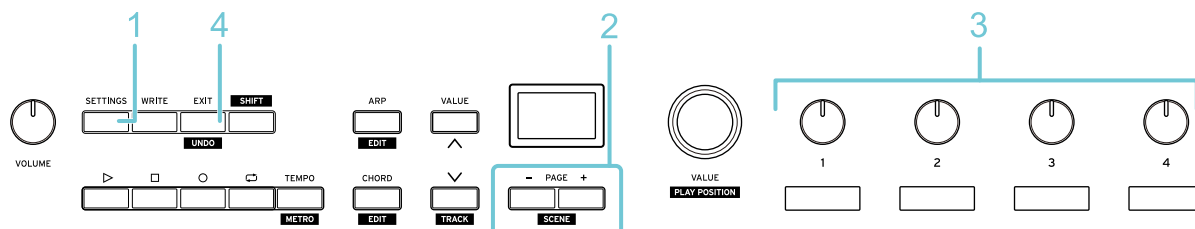
また、ペダルを調整（キャリブレーション）したり、設定を工場出荷時の状態に戻したりできます。

[→ペダルを調整する](#)

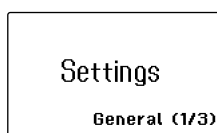
[→工場出荷時の状態に戻す](#)

## 本機の全体的な動作を設定する

セッティング画面を表示して、本機の全体的な動作を設定します。

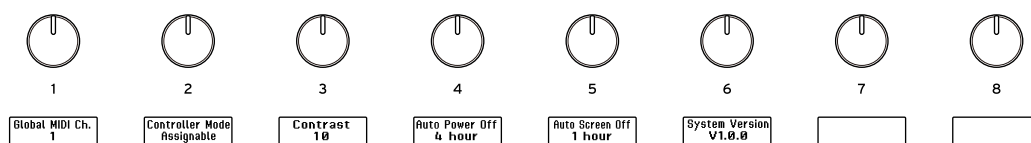


- 1 SETTINGSボタンを押します(ボタン点灯)。  
セッティング画面(ページ1)が表示されます。



セッティング画面は次の3ページで構成されています。

- ページ1 (General) : 本機の全体的な設定をします。
  - ページ2 (Keyboard) : 鍵盤に関する設定をします。
  - ページ3 (Pedal) : ペダルに関する設定をします。
- 2 PAGE - ボタンまたは+ボタンを押して設定するページを表示します。
  - 3 ノブ1~8を回してノブに割り当てられた設定を変更します。



- 4 変更を終了するにはEXITボタンを押します。  
メイン画面に戻ります。

### 全体的な設定 (MIDI、オート・パワー・オフなど)

#### ノブ1 [Global MIDI Ch.]

本機がMIDIデータの送受信に使用するMIDIチャンネルを設定します。

1~16 : MIDIチャンネル1~16

#### ノブ2 [Controller Mode]

本機でコントロールするDAWを設定します。“KORG Kontrol Editor”を使ってトランスポート・ボタンを好みの設定に変更したい場合は“Assignable”を選択します。

#### ノブ3 [Contrast]

メイン・ディスプレイやサブ・ディスプレイの明るさを調節します。

1~10 : 数値が大きいくほど明るくなります。

## ノブ4 [Auto Power Off]

フロント・パネル、鍵盤、MIDI入出力の操作がないとき、自動的に電源をオフにするかを設定します。

**Disabled** : オート・パワー・オフを無効にします。

**1 hour、2 hours、3 hours、4 hours** : 1時間、2時間、3時間、4時間に設定します。

## ノブ5 [Auto Screen Off]

フロント・パネル、鍵盤、MIDI入出力の操作がないとき、メイン・ディスプレイやサブ・ディスプレイを自動消灯するかを設定します。

**Disabled** : オート・スクリーンオフを無効にします。

**1 min、5 min、15 min、30 min、1 hour、2 hours、3 hours、4 hours** : 1分～4時間に設定します。

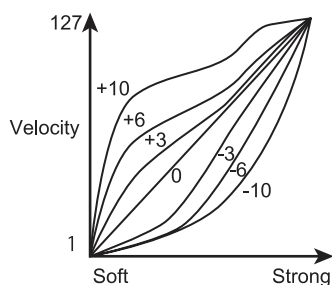
## ノブ6 [System Version]

本機のシステム・バージョンを表示します。

# 鍵盤に関する設定(ベロシティ・カーブなど)

## ノブ1 [Velocity Curve]

ベロシティ・カーブを使い、鍵盤の強弱によるレスポンスを -10 ~ +10 の範囲で調節します。



## ノブ2 [AT MODE]

アフタータッチの動作を設定します。

**Off** : アフタータッチを無効にします。

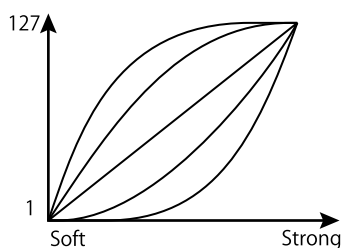
**Channel** : チャンネル・アフタータッチに設定します。

**Polyphonic** : ポリフォニック・アフタータッチに設定します。

**MPE** : MIDI Polyphonic Expression対応の音源を使用するときに設定します。

## ノブ3 [AT Curve]

アフタータッチ・カーブを使い、アフタータッチの特性を-10~+10の範囲で調節します。



## ノブ4 [AT Threshold]

アフタータッチが動作するしきい値（0～127）を設定します。設定した値を超える力で鍵盤を押し込むと、アフタータッチがかかります。

## ノブ5 [AT Max]

アフタータッチの最大値（0～127）を設定します。

# ペダルに関する設定

**Note:** ダンパー・ペダルやエクスプレッション・ペダルをより確実に動作させるためには、ペダルを調整（キャリブレーション）してください。

→[ペダルを調整する](#)

## ノブ1 [Pedal 1 Type]

ペダル1（DAMPER端子に接続したペダル）の種類を設定します。

**Damper Pedal**：ダンパー・ペダル（DS-1H、PS-1、PS-3）

**Exp.Pedal**：エクスプレッション・ペダル（EXP-2、XVP-20）

## ノブ2 [Pedal 1 Mode]

ペダル1（DAMPER端子に接続したペダル）で操作する機能を設定します。

**Damper**：ダンパー

**Expression**：エクスプレッション

**CC**：コントロール・チェンジ

**Program Up**：プログラム・チェンジ+1

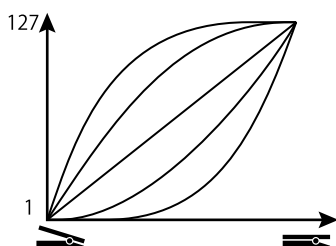
**Program Down**：プログラム・チェンジ-1

## ノブ3 [Pedal 1 CC#]

“Pedal 1 Mode”（ノブ2）を“CC”にしたときに使用するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

## ノブ4 [Pedal 1 Curve]

ペダル1を踏み込んだときのカーブ特性を-10～+10の範囲で調節します。ペダル・スイッチを接続している場合は機能しません。



## ノブ5 [Pedal 2 Type]

ペダル2（EXPRESSION端子に接続したペダル）の種類を設定します。設定値は“Pedal 1 Type”と同じです。

### ノブ6 [Pedal 2 Mode]

ペダル2 (EXPRESSION端子に接続したペダル) の機能を設定します。設定値は“Pedal 1 Mode”と同じです。

### ノブ7 [Pedal 2 CC#]

“Pedal 2 Mode” (ノブ6) を“CC”にしたときに使用するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

### ノブ8 [Pedal 2 Curve]

ペダル2を踏み込んだときのカーブ特性を-10~+10の範囲で調節します。設定値は“Pedal 1 Curve”と同じです。



## シーンを切り替える

ノブやアルペジエーターなどの設定（シーン・データ）は、シーンとして一括保存や呼び出しができません。

### →シーン・データ

本機の内部には16個のシーンが保存可能です。使用する音源や演奏するシチュエーションごとにシーンを用意しておくことで、本機の設定を瞬時に切り替えられます。

シーン1～6には、ソフトウェア音源用にユーザー・ページが設定されたシーンが用意されています。ご使用になるソフトウェア音源に合わせてシーンを選んでください。

シーン1: wavestate native

シーン2: opsix native

シーン3: modwave native

シーン4: microKORG

シーン5: TRITON

シーン6: Polysix

**Note:** 本機には wavestate native LE がバンドルされています。その他のソフトウェア音源は別途お買い求めいただく必要があります。

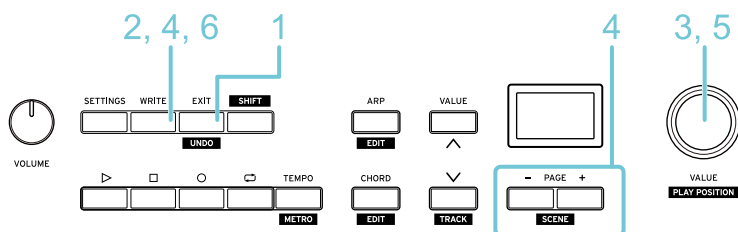
**!** シーン1～6の内容は自由に変更できます。ただし、ユーザー・ページの設定が工場出荷時から変更されている場合、ソフトウェア音源を正常に操作できないことがあります。

**Tip:** KORG KONTROL Editor を使用すると、シーンの管理や編集ができます。コルグ・ウェブサイトよりダウンロードし、付属のドキュメントに従ってセットアップしてください。

[https://www.korg.com/keystage\\_editor/](https://www.korg.com/keystage_editor/)

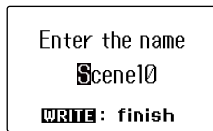
## シーンを保存する

現在の設定をシーンとして保存します。保存したい状態に本機を設定してから操作してください。



- EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
  - WRITEボタンを押します。  
保存先の選択画面が表示されます。
- Select Dest  
Scene10  
WRITE:continue
- VALUEダイヤルを回して、保存先のシーン番号を選択します。

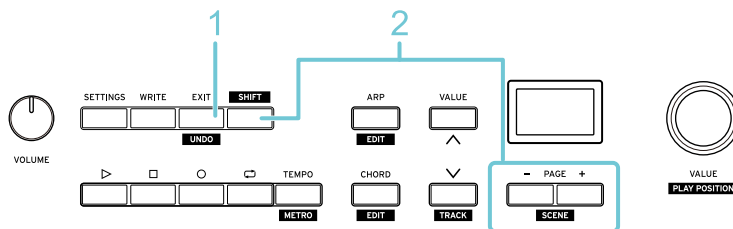
- もう一度WRITEボタンを押します。  
シーン名の入力画面が表示されます。



- VALUEダイヤルとPAGE -, +ボタンでシーン名を入力します。  
VALUEダイヤルで文字の変更、PAGE -, +ボタンで入力位置の変更ができます。
- 保存を実行するにはWRITEボタンを押します。  
保存が実行されると“Saved!”と表示されます。

## シーンを呼び出す

保存したシーンを呼び出します。



- EXITボタンを押して、メイン画面を表示します。
- SHIFTボタンを押しながら、PAGE -ボタンまたは+ボタンを押してシーンを選択します。

## KORG KONTROL Editorを使う

---

KORG KONTROL Editorを使うと、本機のパラメーターの管理や編集に加え、パネル操作では不可能な設定ができます。コルグ・ウェブサイトよりダウンロードしてください。

[https://www.korg.com/keystage\\_editor/](https://www.korg.com/keystage_editor/)

**Tip:** KORG KONTROL Editor のインストールや使い方については、ソフトウェア付属の取扱説明書をご覧ください。

KORG KONTROL Editorでのみ設定できるパラメーターは以下のとおりです。MIDI チャンネルを指定するとき“Global” に設定すると、グローバルMIDI チャンネルで送信されます。

### Keyboard (鍵盤の設定)

**MIDI Ch** :演奏情報を送信するMIDIチャンネルを設定します (1~16またはGlobal)。

**Octave** :オクターブ (-3~0~+3) を設定します。

**Transpose** :トランスポーズ (-12~0~+12) を設定します。

### Wheel (モジュレーション・ホイールの設定)

**MIDI Ch** :操作情報を送信するMIDIチャンネルを設定します (1~16またはGlobal)。

**Lower Value** :モジュレーション・ホイールを下端にしたときの値 (0~127) を設定します。

**Upper Value** :モジュレーション・ホイールを上端にしたときの値 (0~127) を設定します。

### Encoder (DAWのプレイ・ポジション移動の設定)

本機からDAWのプレイ・ポジションの移動 (SHIFTボタン+VALUEダイヤル) をしたときの動作を設定します。VALUEダイヤルを左に回したとき (REW)、右に回したとき (FF) の動作を個別に設定できます。

→[トランスポートの操作](#)

**MIDI Ch** :操作情報を送信するMIDIチャンネルを設定します (1~16またはGlobal)。

**AssignType** :操作時にコントロール・チェンジ (CC) を送信するか、ノート・メッセージ (Note) を送信するかを選びます (NoAssign、CC、Note)。“NoAssign”を選ぶと無効になります。

**CC/Note Number** :操作時に送信されるMIDIメッセージ (コントロール・チェンジ・ナンバーまたはノート・ナンバー) を設定します。

### Knob (ノブ1~8の設定)

ノブ1~8を操作したときの動作を設定します。128種類のノブ (ノブ1~8×16ページ分) を個別に設定できます。

**MIDI Channel** :操作情報を送信するMIDIチャンネルを設定します (1~16またはGlobal)。

**Left Value** :ノブを左端にしたときの値 (0~127) を設定します。

**Right Value** :ノブを右端にしたときの値 (0~127) を設定します。

## Button (その他のDAW操作の設定)

トランスポート・ボタンを操作したり、トラックの切り替えや操作の取り消し (Undo) をしたときの動作を設定します。

→[トランスポートの操作](#)

→[その他のDAW操作](#)

以下の操作を個別に設定できます。

- PLAY ボタン (Play)、STOP ボタン (Stop)、REC ボタン (Rec)、LOOP ボタン (Loop)、TEMPO ボタン (Tempo)、SHIFT ボタン+TEMPO ボタン (Metro)、SHIFT ボタン+EXIT ボタン (Undo)、SHIFT ボタン+VALUE ボタン (Track down、Track up)

**MIDI Ch** : 操作情報を送信するMIDIチャンネルを設定します (1~16またはGlobal)。

**AssignType** : 操作時にコントロール・チェンジ (CC) を送信するか、ノート・メッセージ (Note) を送信するかを選びます (NoAssign、CC、Note)。“NoAssign”を選ぶと無効になります。

**Behavior** : ボタンを操作したときの動作を選びます (MomentaryまたはToggle)。“Momentary”に設定した場合、ボタンを押したとき“On Value”の値が送信され、ボタンから手を離れたときに“Off Value”の値が送信されます。“Toggle”に設定した場合、ボタンを押すたびに“On Value”と“Off Value”の値が交互に送信されます。

**CC / Note Number** : 操作時に送信されるMIDIメッセージ (コントロール・チェンジ・ナンバーまたはノート・ナンバー) を設定します。

**On Value、Off Value** : “CC / Note Number”を“CC”にしたときに送信される、コントロール・チェンジの値 (0~127) を設定します。“Behavior”の設定によって、送信されるタイミングが変わります。

## Property Exchange (MIDI 2.0のProperty Exchangeの設定)

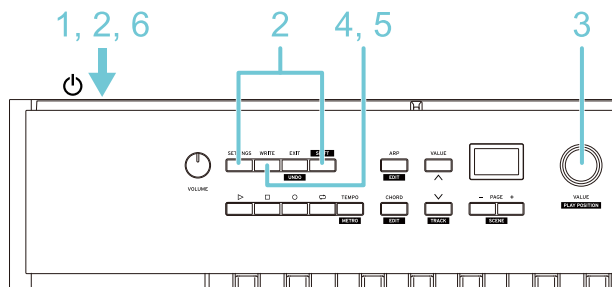
Property Exchangeは、MIDIメッセージを使ってデバイス同士の音色名やパラメーター名などの情報を送受信する機能です。必要に応じて動作を変更できます。

**Property Exchange Enable** : Property Exchange機能を有効 (Enable) または無効 (Disable) に設定します。

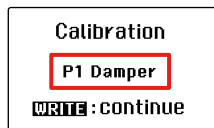
**Program Number Display** : Property Exchangeによるプログラム・ナンバーを、表示 (Displayed) または非表示 (Not Displayed) に設定します。

## ペダルを調整する

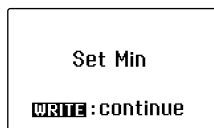
ダンパー・ペダルやエクスプレッション・ペダルをより確実に動作させるためには、ペダルを調整（キャリブレーション）してください。



- 1 本機の電源をオフにします。
- 2 SETTINGボタンとSHIFTボタンを同時に押しながら、電源をオンにします。



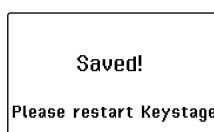
- 3 VALUEダイヤルを回して調整するペダルを選び、WRITEボタンを押して決定します。  
**P1 Damper:** DAMPER端子に接続したダンパー・ペダル  
**P1 Expression:** DAMPER端子に接続したエクスプレッション・ペダル  
**P2 Damper:** EXPRESSION端子に接続したダンパー・ペダル  
**P2 Expression:** EXPRESSION端子に接続したエクスプレッション・ペダル



- 4 ペダルの最小値を設定します。  
**ダンパー・ペダル:** ペダルを踏まずにWRITEボタンを押します。  
**エクスプレッション・ペダル:** ペダルを最も上げた状態(最小)にして、WRITEボタンを押します。



- 5 ペダルの最大値を設定します。  
**ダンパー・ペダル:** ペダルを最も踏み込んだ状態でWRITEボタンを押します。  
**エクスプレッション・ペダル:** ペダルを最も踏み込んだ状態(最大)にして、WRITEボタンを押します。
- 6 WRITEボタンを押して、設定を保存します。

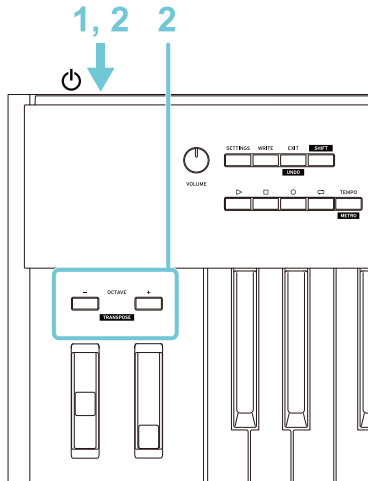


- 7 本機の電源を入れ直します。

**Note:** 電源のオン/オフは、5秒以上間隔を空けて切り替えてください。

## 工場出荷時の状態に戻す

本機のすべての設定をリセットして、工場出荷時の状態に戻します。



- 1 本機の電源をオフにします。
- 2 OCTAVE -、+ ボタンを同時に押しながら、電源をオンにします。  
リセットが実行され、電源がオンになります。

## 付録

---

- [故障とお思いになる前に](#)
- [プリセット・コード・セット一覧 \(コード・モード\)](#)
- [仕様](#)
- [動作環境 \(USB 接続\)](#)
- [MIDI インプリメンテーション・チャート](#)

## 故障とお思いになる前に

### 電源が入らない

- 本機とコンピューターを USB ハブを経由して接続しているとき、電力不足で電源が入らない場合があります。USBハブを経由せず、コンピューター本体のUSB端子に直接本機を接続してください。
- お使いの USB ケーブルに問題がある可能性があります。付属の USB ケーブルで電源が入るか確認してください。
- iPad/iPhone と Lightning-USB カメラアダプタを使って接続する場合は、AC アダプター（別売）を接続してください。

### オーディオが出力されない

- ご使用になるアプリケーションのオーディオ設定で、出力先として本機が選択されていることを確認してください。
- Windows PC をご使用の場合は、オーディオ・ドライバーのインストールが必要です。USB接続をする前にコルグ・ウェブサイト（[www.korg.com](http://www.korg.com)）よりドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

### ソフトウェアが反応しない

- ご使用になるアプリケーションの MIDI ポート設定で、本機が設定されていることを確認してください。
- DAW やソフトウェア音源で本機を使用する場合、ご使用になるアプリケーションの設定が必要です。アプリケーションの取扱説明書を参照し設定してください。
- ご使用になるアプリケーションが、一部機能に対応していない場合があります。アプリケーションの取扱説明書を参照し、確認してください。
- 本機が送信するメッセージの MIDI チャンネルと、アプリケーションの受信 MIDI チャンネルが同じチャンネルに設定されているか確認してください。

### ボタンやコントローラーの動作がおかしい

- ご使用になるアプリケーションが対応していない機能は、動作しなかったり、異なる動作をしたりすることがあります。アプリケーションの取扱説明書を参照し、対応しているか確認してください。



# プリセット・コード・セット一覧(コード・モード)

プリセット・コード・セットの白鍵には、主要なコードが登録されています。白鍵のコードを組み合わせただけで、簡単なコード進行のアイデアを作れます。プリセット・コード・セットの大半は中心音 (Tonal Centre) がCになるように調整されています。移調したい場合は、鍵盤をトランスポートしてください。

No.	コード・セット	ノート・スロット											演奏例	
		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#		B
1	Major 1	CM7	C#dim7	Dm7	D#dim7	Em7	FM7	F#m7b5	G7	G#dim7	Am7	A#dim7	Bm7b5	CADG, DGEA, FEDA
		G4	G4	A4	A4	B4	C5	C5	D5	D5	E5	E5	F5	
		E4	E4	F4	F#4	G4	A4	A4	B4	B4	C5	C#5	D5	
		B3	A#3	C4	C4	D4	E4	E4	F4	F4	G4	G4	A4	
		ダイアトニック・コードと呼ばれるイオニアン・スケール(白鍵盤を使ったメロディー)にマッチする基本的なコード												
2	Major 2	CM7	C#dim7	D7	D#dim7	Em7	F#m7b5	F#7	GM7	G#dim7	Am7	A#dim7	Bm7	CBAB
		G4	G4	A4	A4	B4	C5	C#5	D5	D5	E5	E5	F#5	
		E4	E4	F#4	F#4	G4	A4	A#4	B4	B4	C5	C#5	D5	
		B3	A#3	C4	C4	D4	E4	E4	F#4	F4	G4	G4	A4	
		リディアン・スケールにマッチするメジャー調のコード												
3	Major 3	C7	C#7	Dm7	D#7	Em7b5	FM7	F#7	Gm7	G#7	Am7	A#7	A#M7	DFGA
		G4	G#4	A4	A#4	A#4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F5	
		E4	F4	F4	G4	G4	A4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	E4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
		ミクソリディアン・スケールにマッチするメジャー調のコード												
4	minor 1	Cm7	C#M7	Dm7b5	D#m7	D#M7	Fm7	F#m7	Gm7	G#m7	G#M7	Am7b5	A#7	CFG A
		G4	G#4	G#4	A#4	A#4	C5	C#5	D5	D#5	D#5	D#5	F5	
		D#4	F4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C5	D5	
		A#3	C4	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G4	G#4	
		エオリアン・スケールにマッチする基本的なマイナー調のコード												
5	minor 2	Cm7	C#m7	Dm7	D#m7	D#M7	F7	F#7	Gm7	G#m7	Am7b5	A#m7	A#M7	CFCF
		G4	G#4	A4	A#4	A#4	C5	C#5	D5	D#5	D#5	F5	F5	
		D#4	E4	F4	F#4	G4	A4	A#4	A#4	B4	C5	C#5	D5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
		ドリアン・スケールにマッチするマイナー調のコード												
6	minor 3	Cm7	C#7b5	Dm7b5	D#m7	D#M7	Fm7	F#dim7	G7	G#dim7	G#M7	A#7	Bdim7	FGCC ABCE
		G4	G4	G#4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	D#5	F5	F5	
		D#4	F4	F4	F#4	G4	G#4	A4	B4	B4	C5	D5	D5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	D#4	F4	F4	G4	G#4	G#4	
		ハーモニック・マイナー・スケールにマッチするマイナー調のコード												

No.	コード・セット	ノート・スロット												演奏例
		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	
7	Kanon 1	C	C#	Dm	D#dim	Em	F	F#dim	G	G#	Am	A#	G/B	CGAE FCDG
		G4	G#4	A4	A4	B4	C5	C5	D5	D#5	E5	F5	G5	
		E4	F4	F4	F#4	G4	A4	A4	B4	C5	C5	D5	D5	
		C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
多くのヒット曲で使われている有名なカノン進行														
8	Kanon 2	Cm9	C#9	D7b9	D#dim7	D#M9	Fm9	F#dim7	Gm9	G7b9b13	G#M9	Am7b5	Gm7/A#	CBAG FEDG#
		G4	G#4	A4	A4	A#4	C5	C5	D5	D#5	D#5	D#5	F5	
		D#4	F4	F#4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C5	D5	
		D4	D#4	D#4	D#4	F4	G4	F#4	A4	G#4	A#4	A4	A#4	
		A#3	B3	C4	C4	D4	D#4	D#4	F4	F4	G4	G4	G4	
C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G3	G#3	A3	A#3			
カノンの進行をマイナー調でドラマチックに発展させたコード														
9	Cliche 1	C	C#7b5	Dm7	D#dim7	Em7	Fm6/C	F#m7b5/C	C	Fm/C	F/C	C7	CM7	CBA#A G#GF#F
		G4	G4	F4	F#4	G4	F4	E4	E4	F4	F4	G4	G4	
		E4	F4	C4	C4	D4	D4	A3	C4	C4	C4	E4	E4	
		C4	B3	A3	A3	B3	G#3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	
半音ずつ変化するクリシェ進行のメジャー・バージョン														
10	Cliche 2	Cm	Fm/C	D/C	CmM7	Cm	Fm6/C	Cdim7	Cm	G#/C	Cm6	Cm7	CmM7	CBA#A G#GF#F
		G4	F4	F#4	G4	D#4	F4	D#4	D#4	D#4	G4	G4	G4	
		D#4	C4	D4	D#4	C4	D4	A3	C4	C4	D#4	D#4	D#4	
		C4	G#3	A3	B3	G3	G#3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
		C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	C3	
半音ずつ変化するクリシェ進行のマイナー・バージョン														
11	Pop 1	C	A/C#	Dm	B/D#	Em	F	D/F#	G	E/G#	Am	A#	G/B	CGAA FCGG
		G4	A4	A4	B4	B4	C5	D5	D5	E5	E5	F5	G5	
		E4	E4	F4	F#4	G4	A4	A4	B4	B4	C5	D5	D5	
		C4	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
シンプルなポップスに適したトライアド(3和音)のダイアトニック・コード														
12	Pop 2	C	C#7	Dm7	D#m	D#	F	F#7	Gm7	G#m	G#	A	A#	CDEE EDCC
		G4	G#4	A4	A#4	A#4	C5	C#5	D5	D#5	D#5	E5	F5	
		E4	F4	F4	F#4	G4	A4	A#4	A#4	B4	C5	C#5	D5	
		C4	B3	C4	D#4	D#4	F4	E4	F4	G#4	G#4	A4	A#4	
		C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G#3	G#3	A3	A#3	
90'sのロックを元に作られたコード														
13	Pop 3	CM7	C#7	Dm7b5	D#m7	D#M7	Fm7	F#m7b5	Gm7	G7	G#M7	Am7b5	A#6	CCAA BBGG#
		G4	G#4	G#4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	D#5	D#5	F5	
		E4	F4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C5	D5	
		B3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F4	G4	G4	G4	
		C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G3	G#3	A3	A#3	
テクノ・ポップ、ロックを元に作られたコード														

No.	コード・セット	ノート・スロット												演奏例	
		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B		
14	R&B 1	Cm7	C#7	Dm7b5	D#m7	D#7	Fm7	F#dim7	G7	G#dim7	G#M7	A7	A#m7	A A G G C C B E	
		G4	G#4	G#4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	D#5	E5	F5		
		D#4	F4	F4	F#4	G4	G#4	A4	B4	B4	C5	C#5	C#5		
		A#3	B3	C4	C#4	C#4	D#4	D#4	F4	F4	G4	G4	G#4		
		C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G#3	G#3	A3	A#3		
メロウな R&B やシティ・ポップ、K ポップの雰囲気を出せるコード															
15	R&B 2	CM9	C#79	Dm9	D#m9	D#M9	Fm9	F#dim7	Gm7	G#m6	G#M9	Em7/A	Fm7/A#	F G C C A B C C	
		G4	G#4	A4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D#5	D#5	E5	F5		
		E4	F4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	D5	D#5		
		D4	D#4	E4	F4	F4	G4	F#4	G4	G#4	A#4	B4	C5		C#5
		B3	B3	C4	C#4	D4	D#4	D#4	F4	F4	G4	G4	G#4		G#4
C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G#3	G#3	A3	A#3	A#3			
浮遊感ある R&B の曲を元に作られたコード															
16	R&B 3	Gm7/C	G#m7/C#	Am7/D	A#m7/D#	D#M9	Cm7/F	C#m7/F#	Dm7/G	D#m7/G#	G#M9	A#m9	A#M9	C E F G	
		F4	F#4	G4	G#4	A#4	A#4	B4	C5	C#5	D#5	F5	F5		
		D4	D#4	E4	F4	G4	G4	G#4	A4	A#4	C5	C#5	D5		
		A#3	B3	C4	C#4	F4	D#4	E4	F4	F#4	A#4	C5	C5		C5
		G3	G#3	A3	A#3	D4	C4	C#4	D4	D#4	G4	G#4	A4		A4
C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G#3	G#3	A#3	A#3	A#3			
オンコードでゴージャスな R&B に適したコード															
17	Jazz 1	CM9	C#M9	Dm9	D#m9	Em9	Fm9	F#9b13	Dm7/G	G#M9	A7#9b13	A#7913	B7913	D E F G C C A A	
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C5	D5	D#5	F5	G5	G#5		
		E4	F4	F4	F#4	G4	A4	A#4	C5	C5	C#5	D5	D#5		
		D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	C5	C5	C#5		C#5
		B3	C4	C4	C#4	D4	E4	E4	F4	G4	G4	G#4	A4		A4
C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	B3			
ジャズを元に作られたコード															
18	Jazz 2	C6	C#dim7	Dm7	D#dim7	C6/E	Fdim7	F#dim7	C6/G	G#dim7	Am7	A#dim7	Bdim7	C C# D D# E	
		G4	G4	A4	A4	A4	B4	C5	C5	D5	E5	E5	F5		
		E4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A4	B4	C5	C#5	D5		
		A3	A#3	C4	C4	C4	D4	D#4	E4	F4	G4	G4	G#4		
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3		
ビッグ・バンド・ジャズ風のコード															
19	Jazz 3	CM9	C#7913	Dm9	D#M9	Em9	Fm9	F#7913	G7#9b13	G#M9	A7913	A#m9	B7913	C B A# A G# G F# F	
		A#4	A#4	C5	D5	D5	D#5	D#5	D#5	D#5	F#5	F5	G#5		
		G4	F4	A4	A#4	B4	C5	A#4	B4	C5	C#5	C#5	D#5		
		D#4	D#4	F4	G4	G4	G#4	G#4	A#4	A#4	B4	C5	C#5		C#5
		D4	B3	E4	F4	F#4	G4	E4	F4	G4	G4	G#4	A4		A4
C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	B3			
ジャズの複雑なテンションを持つコード															

No.	コード・セット	ノート・スロット												演奏例
		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	
20	Blues 1	C79	C#79	D79	D#79	E79	F79	F#79	G79	G#79	A79	A#79	B79	CCFF CCGF# FFCC
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	
		D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
ブルース、ジャズ、ファンク系のブルース・コード														
21	Blues 2	Cm7	C#7	Dm7b5	D#m7	D#7	Fm7	F#7	Gm7	G#m7	G#7	A7	A#7	CCFC GFCC
		A#4	B4	C5	C#5	C#5	D#5	E5	F5	F#5	F#5	G5	G#5	
		D#4	F4	G#4	F#4	G4	G#4	A#4	A#4	B4	C5	C#5	D5	
		C3	C#3	D3	D#3	D#3	F3	F#3	G3	G#3	G#3	A3	A#3	
マイナー調のブルース・コード														
22	Latin	Cm	C#7	Dm7b5	D#dim7	D#M7	F7	F#dim7	G7b9b13	G#M7	Am7b5	Cm7/A#	Baug	CBA#A DDGG
		G5	F5	F5	F#5	G5	D#5	D#5	F5	G5	G5	G5	G5	
		D#5	B4	C5	C5	D5	C5	C5	D#5	D#5	D#5	D#5	D#5	
		C5	G#4	G#4	A4	A#4	A4	A4	B4	C5	C5	C5	B4	
ラテン、サルサを元に作られたコード														
23	Bossa	CM7	C#79	D79	D#79	E79	F69	F#7#11	F/G	G#7	A7b13	A#7	B713	CBA#A G#GF#F ED#DC# C
		G4	D#5	E5	F5	F#5	G5	E5	F5	D#5	F5	F5	G#5	
		E4	B4	C5	C#5	D5	D5	C5	C5	C5	C#5	D5	D#5	
		B3	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	A4	F#4	G4	G#4	A4	
ボサ・ノヴァの雰囲気を感じられるコード														
24	Motion 1	CM9	C#m9	DM9	D#m9	EM9	Fm9	F#M9	Gm9	G#M9	Am9	A#M9	Bm9	CBA#A G#GF#F
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	
		E4	E4	F#4	F#4	G#4	G#4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	
		D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	
曲のブリッジで使われるような半音下降しながら進行するコード														
25	Motion 2	CM7	C#7sus4	DM7	D#7sus4	EM7	F7sus4	F#M7	G7sus4	G#M7	A7sus4	A#M7	B7sus4	CBA#A G#GF#F
		B4	B4	C#5	C#5	D#5	D#5	F5	F5	G5	G5	A5	A5	
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	
		E4	F#4	F#4	G#4	G#4	A#4	A#4	C5	C5	D5	D5	E5	
フレンチ・ポップ風の半音下降しながら進行するコード														

No.	コード・セット	ノート・スロット											演奏例	
		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#		B
26	Hit 1	C#9	C#9	D#9	D#9	E#9	F#9	F#9	G#9	G#9	A#9	A#9	B#9	----
		D5	D#5	E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	B5	C6	C#6	
		B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	
		E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	
C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3			
メジャー7th 9th コードの平行移動														
27	Hit 2	C#7#9	C#7#9	D#7#9	D#7#9	E#7#9	F#7#9	F#7#9	G#7#9	G#7#9	A#7#9	A#7#9	B#7#9	----
		D#5	E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	B5	C6	C#6	D6	
		A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	
		E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
ブレイクやヒットとしても使われる 7th#9 のコードの平行移動														
28	Hit 3	C#m9	C#m9	D#m9	D#m9	E#m9	F#m9	F#m9	G#m9	G#m9	A#m9	A#m9	B#m9	----
		G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	
		D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	
		D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3			
マイナー7th 9th コードの平行移動														
29	Hit 4	G#m7/C	G#m7/C#	A#m7/D	A#m7/D#	B#m7/E	C#m7/F	C#m7/F#	D#m7/G	D#m7/G#	E#m7/A	F#m7/A#	F#m7/B	----
		F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5	E5	
		D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B5	C5	C#5	
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
		G3	G#3	A3	A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	
C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3			
オンコードの平行移動														
30	Hit 5	C7sus4	C#7sus4	D7sus4	D#7sus4	E7sus4	F7sus4	F#7sus4	G7sus4	G#7sus4	A7sus4	A#7sus4	B7sus4	----
		A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	
		F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
Quartal Triads と呼ばれる 4th 7th を乗せたコードの平行移動														
31	Hit 6	C5th	C#5th	D5th	D#5th	E5th	F5th	F#5th	G5th	G#5th	A5th	A#5th	B5th	----
		C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	
		G3	G#3	A3	A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#4	A3	A#3	B3	
パワー・コードと呼ばれる 5th を乗せたコードの平行移動														
32	Hit Oct	C0ct	C#0ct	D0ct	D#0ct	E0ct	F0ct	F#0ct	G0ct	G#0ct	A0ct	A#0ct	B0ct	----
		C5	C#5	D5	D#5	E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	B5	
		C4	C#4	D4	D#4	E4	F4	F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	
		C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3	G#3	A3	A#3	B3	
		C2	C#2	D2	D#2	E2	F2	F#2	G2	G#2	A2	A#2	B2	
4 オクターブをユニゾンさせた和音の平行移動														

# 仕様

## 鍵盤部

Keystage-49: Polytouch鍵盤\*, 49鍵

Keystage-61: Polytouch鍵盤\*, 61鍵

ベロシティ、アフタータッチ、ポリフォニック・アフタータッチ対応

ベロシティ・カーブ: 21 (-10~0~+10)

オクターブ・レンジ: 7 (-3~0~ +3)

## コントローラー

ピッチベンド・ホイール、モジュレーション・ホイール、パラメーター・コントロール用ノブ× 8

VOLUMEノブ、SETTINGSボタン、WRITEボタン、EXITボタン、SHIFTボタン、ARPボタン、CHORDボタン、VALUE  $\wedge$ 、 $\vee$  ボタン、VALUEダイヤル、PAGE -、+ボタン、トランスポート・ボタン、TEMPOボタン、OCTAVE -、+ボタン

## ディスプレイ

メイン・ディスプレイ: 有機EL ディスプレイ

サブ・ディスプレイ: 有機EL ディスプレイ× 8

## シーン

シーン数: 16

## アルペジエーター

アルペジエーター・リズム・パターン: 20

## コード・モード

プリセット・コード・セット: 32

ユーザー・コード・セット: 32

## 入出力端子

USB端子、MIDI (IN、OUT端子)、EXPRESSION端子、DAMPER端子、AUDIO OUT (L/MONO、R端子)、ヘッドホン端子

## オーディオ・アウトプット

AUDIO OUT (L/MONO、R): 6.3 mm TSフォーン・ジャック (不平衡)

ヘッドホン: 6.3 mm ステレオ・フォーン・ジャック

## コントロール・インプット

DAMPER (ハーフ・ダンパー対応)

EXPRESSION

## MIDI

IN、OUT

## USB

Type B

MIDI/オーディオ・インターフェイス

MIDI: 1イン/1アウト

オーディオ: 2ch アウト

オーディオ・フォーマット: 44.1 kHz / 16 bit

## 電源

USBバス電源方式、またはACアダプター (DC 9V、)

### 消費電流

5 V/500 mA以下 (USBバスパワー時)

### 消費電力

4 W (ACアダプター使用時)

### 外形寸法 (W × D × H)

Keystage-49 : 814 × 234 × 82 mm

Keystage-61 : 979 × 234 × 82 mm

### 質量

Keystage-49 : 4.2 kg

Keystage-61 : 5.0 kg

### 付属品

USBケーブル (Type A-Type B)、拡張プレート、クイック・スタート・ガイド、安全上のご注意

### アクセサリ (別売)

ポリウム/エクスペッション・ペダルXVP-20

フット・コントローラーEXP-2

ダンパー・ペダルDS-1H

ペダル・スイッチPS-1、PS-3

ACアダプターKA350

\*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

\* **Polytouch**<sup>®</sup> は、Ashun Sound Machines と共同開発した Medeli の登録商標です。

\*すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 動作環境(USB 接続)

---

最新のOS 対応状況については、コルグ・ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.korg.com/support/os/>



## MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション…		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1-16 1-16	1-16 1-16	記憶される
モード	電源ON時 メッセージ 代用	× ○ *****	× ×	
ノート ナンバー	音域	0-127 *****	× ×	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9n, V=1-127 ○ 8n, V=1-64	× ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	○ ○	× ×	
ピッチ・バンド		○	×	
コントロール チェンジ	0-127	○	×	
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 0-127 *****	× *****	
エクスクルーシブ		○	○	*1, *3
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	○ ×	○ ×	
その他	ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	○ ○ ○ ×	× × × ×	*2
<b>備考</b> *1: KORGエクスクルーシブ以外にインクワイアリー・メッセージに対応する。 *2: MIDI OUT端子のみ送信。(USB-MIDIは非対応) *3: MIDI2.0 Property Exchangeメッセージに対応。				

モード1: オムニ・オン、ポリ  
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ  
モード4: オムニ・オフ、モノ

○: あり  
×: なし

MIDIインプリメンテーションの配布については、コルグ・ウェブサイトをご確認ください。